

藤田医科大学 学生生活・学修実態調査： 2020 年度 医学部報告書



藤田医科大学 I R推進センター
医学部 I R分室

2020 年 12 月 20 日

目 次

1. はじめに	1
2. 調査目的	2
3. 調査方法	2
4. 調査結果	2
(1) 学修と学外活動の充実度	3
(2) 生活時間の状況	6
(3) 学修方法の状況	14
(4) 学修成果の状況	23
(5) 教育・制度の課題	35
(6) 施設・設備の課題	45
5. まとめ	56
6. 調査資料	57

1. はじめに

藤田医科大学（以下、本学）の教育目標を達成するため、教育及び学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実発展に寄与することを目的として、藤田医科大学 IR(Institutional Research)推進センターが設置されています。学生生活・学修実態調査における 2020 年度の医学部学生のアンケート回答を集計・分析した結果を報告いたします。

2020 年 12 月 20 日

2020 年度 藤田医科大学 I R 推進センター 医学部 I R 分室

飯塚成志、古澤彰浩、一瀬千穂、川戸美由紀、若月徹、藤江里衣子
山本正樹、中村早紀、横田正明

2. 調査目的

調査目的としては、本学の学生生活・学修実態の概要と学修の課題の把握とし、本学の教育活動の見直しに係る検討への情報提供を想定する。

3. 調査方法

本調査の対象は2020年度の医学部の全学生である。学生の調査への参加は任意とし、eラーニングシステムであるMoodleのフィードバック機能を利用して調査を実施した。依頼文および調査項目は「6. 調査資料」に掲載した。

対象者：医学部全学生（2020年10月31日時点在籍者） 732名

調査期間： 2020年10月15日（木）～10月31日（土）

回 答 者：	1年生：	127名中 98名（77.2%）	女性38名、男性60名
	2年生：	139名中 51名（36.7%）	女性21名、男性30名
	3年生：	116名中 97名（83.6%）	女性28名、男性69名
	4年生：	121名中 63名（52.1%）	女性28名、男性35名
	5年生：	120名中 32名（26.7%）	女性11名、男性21名
	6年生：	109名中 62名（56.9%）	女性24名、男性38名
	全 体：	732名中 403名（55.1%）	女性150名、男性253名

4. 調査結果

(1) 学修と学外活動の充実度

・ 結 果

大学の学修面での充実度については、充実している・まあまあ充実している、との回答の合計が全体で7割を超えており、どの学年でも6割を超えていた（表1）。特に5年生ではこの比率が93.8%となっており、新型コロナ禍の中でも臨床実習が順調にできていることを反映していると考えられる。

一方大学のクラブ活動や学外活動については充実している・まあまあ充実しているとの回答合計が全体で34.3%、どの学年でも半数以下であった（表2）。特に1年生ではこの比率が11.1%と極めて低い比率となっており、新型コロナ禍の影響でクラブ活動・学外活動がほとんどスタートできていないことがわかる。

・ 考 察

大勢としては学生の充実度は比較的高いと判断できるが、今年度は特にコロナ禍の影響により部活・学外活動が大幅な制限を受けた結果、充実度が低く、特に1年生では9割近くが満足のいく活動ができていない。広く国内に視野を転じると様々な工夫がなされてスポーツの試合や各種イベント等が再開されている。単に学生による活動を制限・禁止するのではなく、オンライン・オフラインを問わず学生自らが様々な工夫を行い、感染拡大防止策を取りつつ活動ができるよう、大学がサポートしていくことが必要であろう。

表1「大学の学修面は充実していますか」の回答状況

大学の学修面での充実度については、充実している・まあまあ充実している、との回答の合計が全体で7割を超えており、どの学年でも6割を超えていました。特に5年生ではこの比率が93.8%となっており、新型コロナ禍の中でも臨床実習が順調にできていることを反映していると考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)充実している	81	22	8	18	10	12	11
(2)まあまあ充実している	204	44	33	43	35	18	31
(3)どちらともいえない	77	16	8	28	13	1	11
(4)あまり充実していない	30	14	2	5	4	1	4
(5)全く充実していない	11	2	0	3	1	0	5
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)充実している	20.1	22.4	15.7	18.6	15.9	37.5	17.7
(2)まあまあ充実している	50.6	44.9	64.7	44.3	55.6	56.3	50.0
(3)どちらともいえない	19.1	16.3	15.7	28.9	20.6	3.1	17.7
(4)あまり充実していない	7.4	14.3	3.9	5.2	6.3	3.1	6.5
(5)全く充実していない	2.7	2.0	0.0	3.1	1.6	0.0	8.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

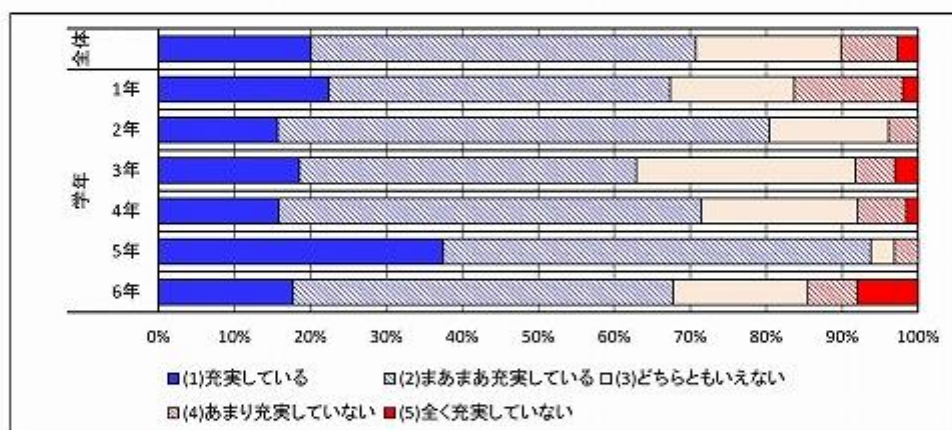
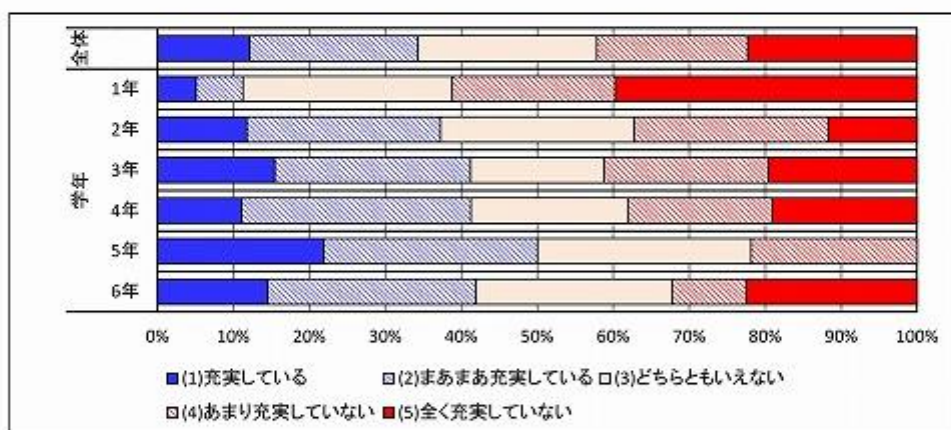


表2「大学のクラブ活動や学外での活動などは充実していますか」の回答状況

学修面での充実度と裏腹に、クラブ活動・学外活動については、充実している・まあまあ充実している、との回答の合計が全体で34.3%、どの学年でも半数以下となっていました。特に1年生ではこの比率が11.1%と極めて低い比率となっており、新型コロナ禍の影響でクラブ活動・学外活動がほとんどスタートできていないことがうかがえます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)充実している	49	5	6	15	7	7	9
(2)まあまあ充実している	89	6	13	25	19	9	17
(3)どちらともいえない	95	27	13	17	13	9	16
(4)あまり充実していない	80	21	13	21	12	7	6
(5)全く充実していない	90	39	6	19	12	0	14
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)充実している	12.2	5.1	11.8	15.5	11.1	21.9	14.5
(2)まあまあ充実している	22.1	6.1	25.5	25.8	30.2	28.1	27.4
(3)どちらともいえない	23.6	27.6	25.5	17.5	20.6	28.1	25.8
(4)あまり充実していない	19.9	21.4	25.5	21.6	19.0	21.9	9.7
(5)全く充実していない	22.3	39.8	11.8	19.6	19.0	0.0	22.6
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



（２）生活時間の状況

・ 結 果

生活時間の状況について表 3-1～表 3-7 に示す。1 週間の生活時間中授業への出席時間は 1～4 年では 20 時間を超えており、オンライン講義が導入されている現状でも授業への出席状況は良好である（表 3-1）。5 年生では 20 時間を切っているが、臨床実習中の自習時間を算入していないせいなのか、実際に実習が縮小されているのかは不明で、さらに調査が必要である。6 年生では 8.61 時間となっているが、実習はなく講義も時間数を絞り、自学自習に大きな割合を割くカリキュラムとなっていることを反映している。

授業に関する予習・復習・課題など自己学習の時間は全学年平均で 6 時間程度である（表 3-2）。1 年生でやや高く、事前学習が必要な課題を提示する科目が多いと考えられる。授業以外の学習時間は 1 年生～4 年生では授業関連以外の学習時間よりも低く、授業を中心とした学習となっていることがわかる（表 3-3）。一方 5 年生では授業以外の学習時間が上回り、6 年生では授業に関する自己学習時間が平均 4.37 時間と低く、46.8%は「0 時間」と回答しているが、授業関連以外の学習時間が平均 17.32 時間と大幅に増えている。6 年生では講義よりも他の医師国家試験向け教材等による自主学習に重きを置く学生が多いためと考えられる。

部活動/サークル活動は全平均 1.16 時間となっており、新型コロナ禍の影響を強く受けている（表 3-4）。アルバイト/定職は全平均 3.41 時間、全体の 63.5%が 0 時間、すなわちアルバイト等をしていないとしているが、昨年までの調査で「アルバイトをしている」との回答は 3～4 割であり、傾向に変化はない（表 3-5）。

就職に関わる活動については 3 年生以下では 0 時間と回答した学生が 9 割を超えており、就職のことを考えている学生は少数だが、4 年生で 22.2%、5 年生で 31.2%、6 年生で 27.4%の学生が就職活動に時間を取っていると回答しており、研修先病院を調べたり、見学に行ったりする学生が 4 年生頃から増える様子が読み取れる（表 3-6）。病院見学や履歴書などの準備・採用試験は 6 年生の 9 月までに集中しているため、アンケートを取る時期により特に 5 年生以降の数字は大きく動くものと考えられる。

趣味・娯楽・交友に使う時間は平均で 10.39 時間となっており、2, 3 年生でやや多く、4, 5 年生でやや少ない（表 3-7）。

・ 考 察

授業や学修に対する時間配分については出校停止やオンライン導入による大きな変化は読み取れないが、部活動/サークル活動に費やす時間が大幅に減少している。アルバイトについてはしていない学生が 6 割以上で昨年度までと大きな変化はないが、必ずしも金銭的に余裕のある学生ばかりではなく、コロナ禍の影響により経済状態が大きく変わったケースもあると考えられる。今後とも丁寧な状況を把握し、必要に応じて奨学金の拡充等の対応を検討すべきである。

表3-1「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「授業(実験・実習含む)への出席」の回答状況

1週間の生活時間中授業への出席時間は1～4年では20時間を超えており、オンライン講義が導入されている現状でも授業への出席状況があまり悪くないことが読み取れます。5年生では20時間を切っていますが、臨床実習中の自習時間を算入していないせいなのか、実際に実習が縮小されているのかは不明で、さらに調査が必要です。6年生では実習はなく講義も時間数を絞り、自学自習に大きな割合を割くカリキュラムとなっていることを反映しています。

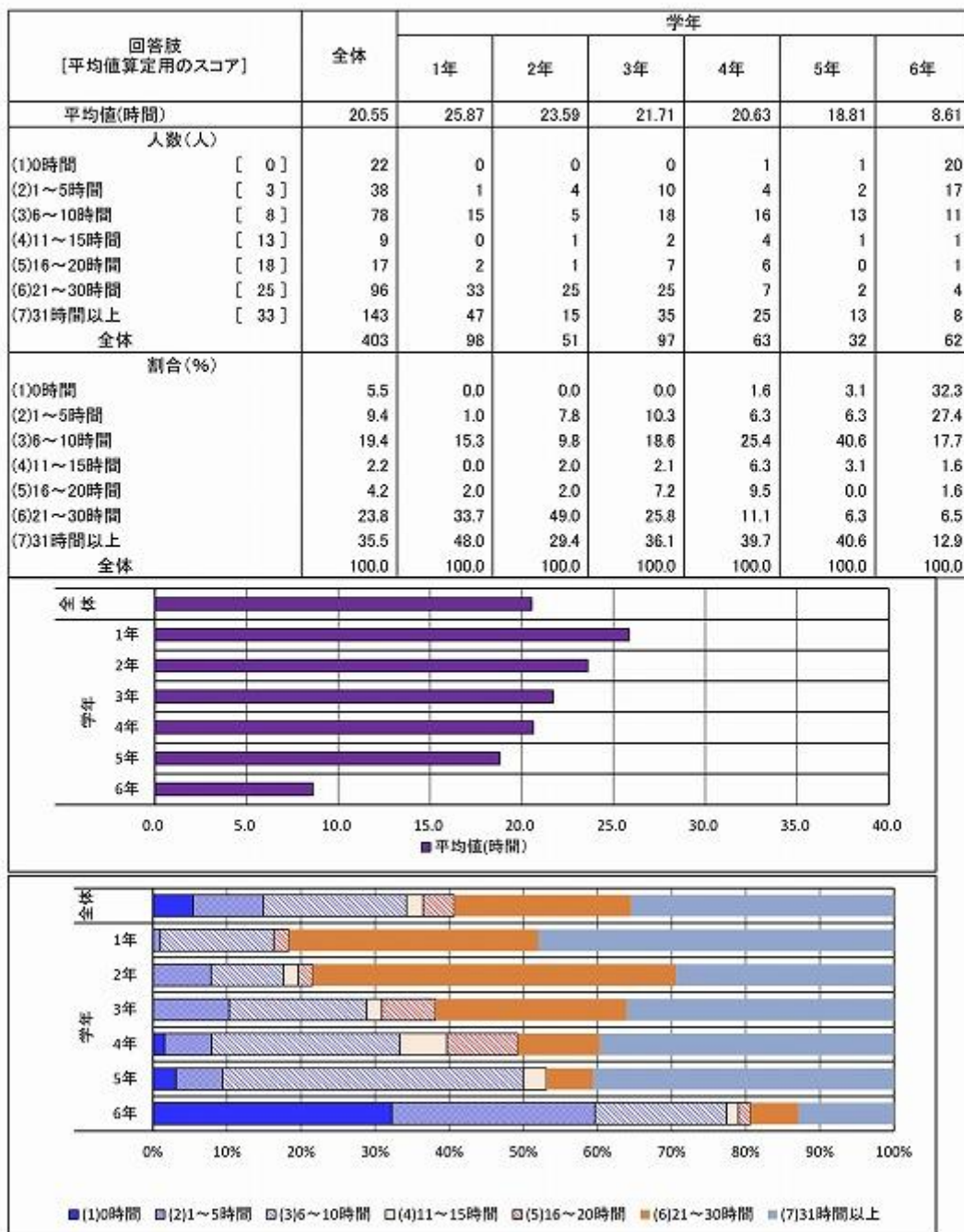


表3-2.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「予習・復習・課題など授業に関する学習」の回答状況

授業に関する自己学習の時間は全学年平均で6時間程度となっています。1年生でやや高い数字となっているのは、事前学習が必要な課題を提示している科目が多いことを反映していると考えられます。6年生では平均4.37時間と低くなっており、46.8%は「0時間」と回答していますが、講義よりも他の国家試験向け教材などによる自主学習に重きを置く学生が多いためと考えられます。

回答肢 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	5.95	7.27	6.25	5.22	6.37	5.84	4.37
人数(人)							
(1)0時間 [0]	51	4	1	10	4	3	29
(2)1～5時間 [3]	226	47	37	64	40	17	21
(3)6～10時間 [8]	64	26	3	11	10	8	6
(4)11～15時間 [13]	31	12	5	7	4	3	0
(5)16～20時間 [18]	12	6	2	2	0	0	2
(6)21～30時間 [25]	5	0	2	0	2	0	1
(7)31時間以上 [33]	14	3	1	3	3	1	3
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	12.7	4.1	2.0	10.3	6.3	9.4	46.8
(2)1～5時間	56.1	48.0	72.5	66.0	63.5	53.1	33.9
(3)6～10時間	15.9	26.5	5.9	11.3	15.9	25.0	9.7
(4)11～15時間	7.7	12.2	9.8	7.2	6.3	9.4	0.0
(5)16～20時間	3.0	6.1	3.9	2.1	0.0	0.0	3.2
(6)21～30時間	1.2	0.0	3.9	0.0	3.2	0.0	1.6
(7)31時間以上	3.5	3.1	2.0	3.1	4.8	3.1	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

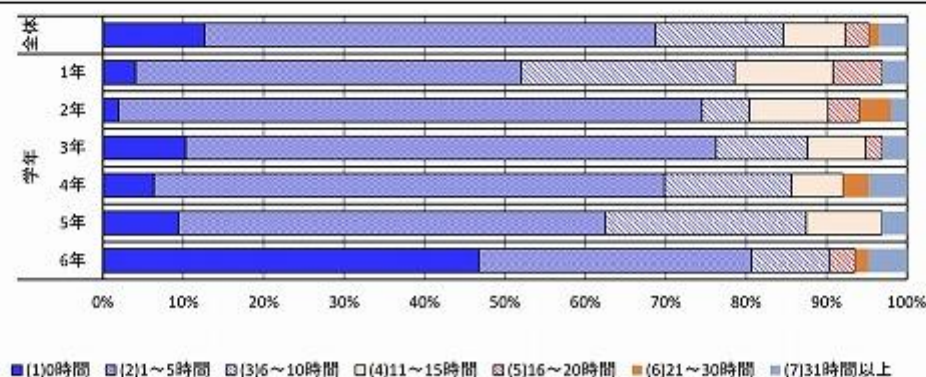
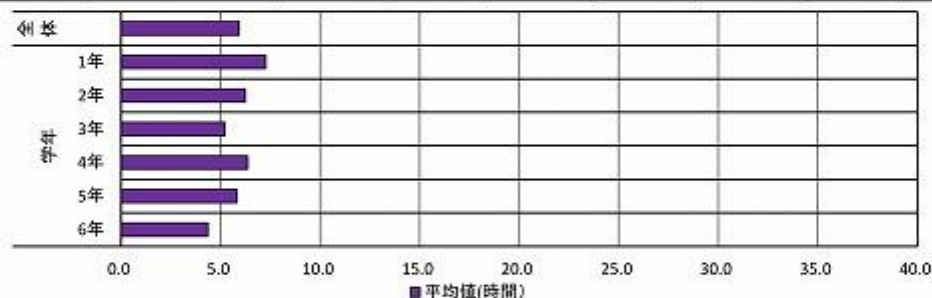


表3-3.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「授業以外の学習」の回答状況

授業以外の学習は全平均が6.69時間となっており、1年生～4年生では授業関連以外の学習時間よりも低く、特に2年生では半分以下の2.94時間で、授業を中心とした学習となっていることがわかります。一方5年生では授業以外の学習時間が上回り、6年生では平均17.32時間と大幅に増えています。総合試験・卒業試験・国家試験の準備などのため、通常の授業外での学習にシフトしている様子がわかります。

回答数 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	6.69	4.55	2.84	4.62	5.63	7.09	17.32
人数(人)							
(1)0時間 [0]	79	21	16	26	11	3	2
(2)1～5時間 [3]	201	58	29	49	37	18	10
(3)6～10時間 [8]	54	8	4	11	8	4	19
(4)11～15時間 [13]	19	7	2	3	1	3	3
(5)16～20時間 [18]	11	1	0	6	1	2	1
(6)21～30時間 [25]	9	0	0	0	2	0	7
(7)31時間以上 [33]	30	3	0	2	3	2	20
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	19.6	21.4	31.4	26.8	17.5	9.4	3.2
(2)1～5時間	49.9	59.2	56.9	50.5	58.7	56.3	16.1
(3)6～10時間	13.4	8.2	7.8	11.3	12.7	12.5	30.6
(4)11～15時間	4.7	7.1	3.9	3.1	1.6	9.4	4.8
(5)16～20時間	2.7	1.0	0.0	6.2	1.6	6.3	1.6
(6)21～30時間	2.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	11.3
(7)31時間以上	7.4	3.1	0.0	2.1	4.8	6.3	32.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

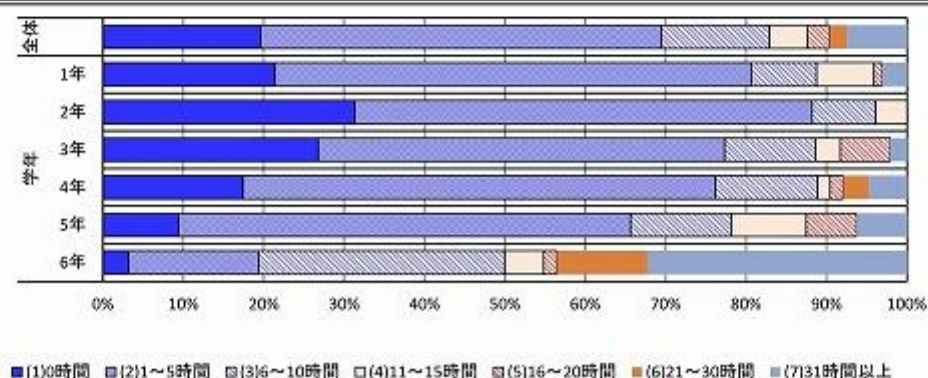
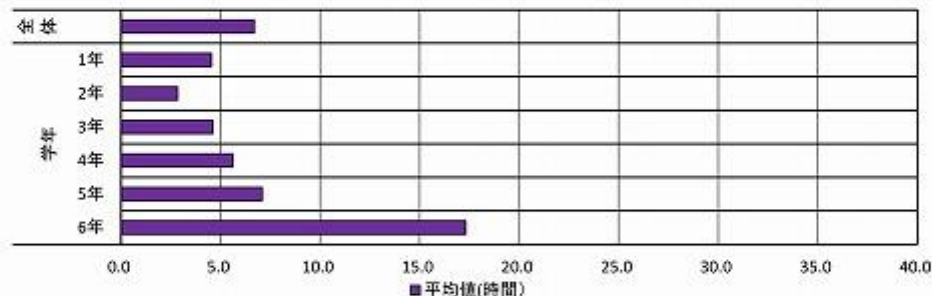


表3-4.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「部活動/サークル活動」の回答状況

部活動・サークルに割いている時間は新型コロナ禍の影響を大きく受けて平均1.16時間となっています。特に1年生では98名中97名が0時間と回答していて、部活・サークルに参加できていないのが現状です。

回答肢 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	1.16	0.34	0.63	1.81	2.00	1.00	1.08
人数(人)							
(1)0時間 [0]	345	97	42	79	51	23	53
(2)1～5時間 [3]	37	0	8	7	7	8	7
(3)6～10時間 [8]	7	0	1	4	1	1	0
(4)11～15時間 [13]	7	0	0	5	1	0	1
(5)16～20時間 [18]	1	0	0	0	1	0	0
(6)21～30時間 [25]	1	0	0	1	0	0	0
(7)31時間以上 [33]	5	1	0	1	2	0	1
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	85.6	99.0	82.4	81.4	81.0	71.9	85.5
(2)1～5時間	9.2	0.0	15.7	7.2	11.1	25.0	11.3
(3)6～10時間	1.7	0.0	2.0	4.1	1.6	3.1	0.0
(4)11～15時間	1.7	0.0	0.0	5.2	1.6	0.0	1.6
(5)16～20時間	0.2	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
(6)21～30時間	0.2	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
(7)31時間以上	1.2	1.0	0.0	1.0	3.2	0.0	1.6
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

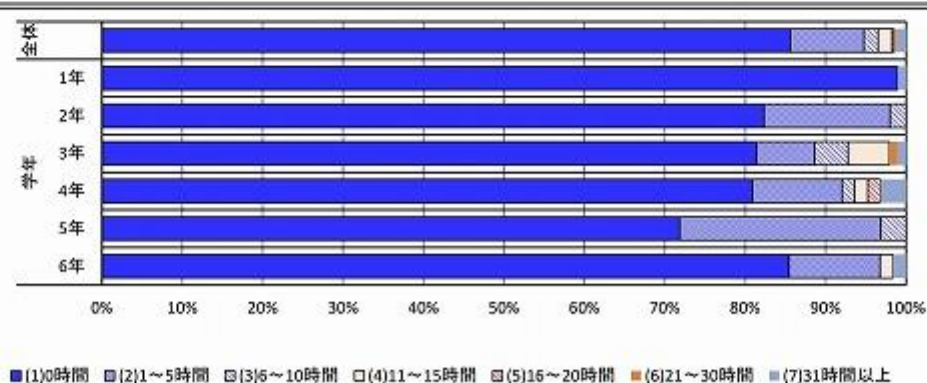
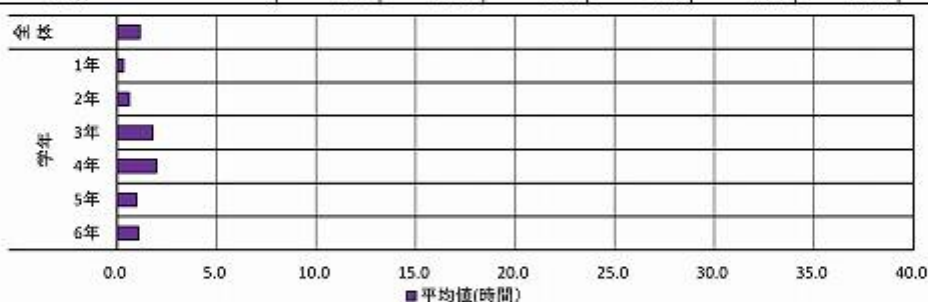


表3-5.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「アルバイト/定職」の回答状況

アルバイトは全学年平均では3.41時間となっていますが、全体の63.5%が0時間、すなわちアルバイト等をしていない、と回答しています。

回答肢 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	3.41	2.65	3.06	5.98	3.62	2.56	1.11
人数(人)							
(1)0時間 [0]	256	68	29	50	37	18	54
(2)1～5時間 [3]	55	11	10	8	12	9	5
(3)6～10時間 [8]	44	12	7	13	8	3	1
(4)11～15時間 [13]	25	5	4	12	2	1	1
(5)16～20時間 [18]	14	0	1	10	2	1	0
(6)21～30時間 [25]	2	0	0	2	0	0	0
(7)31時間以上 [33]	7	2	0	2	2	0	1
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	63.5	69.4	56.9	51.5	58.7	56.3	87.1
(2)1～5時間	13.6	11.2	19.6	8.2	19.0	28.1	8.1
(3)6～10時間	10.9	12.2	13.7	13.4	12.7	9.4	1.6
(4)11～15時間	6.2	5.1	7.8	12.4	3.2	3.1	1.6
(5)16～20時間	3.5	0.0	2.0	10.3	3.2	3.1	0.0
(6)21～30時間	0.5	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
(7)31時間以上	1.7	2.0	0.0	2.1	3.2	0.0	1.6
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

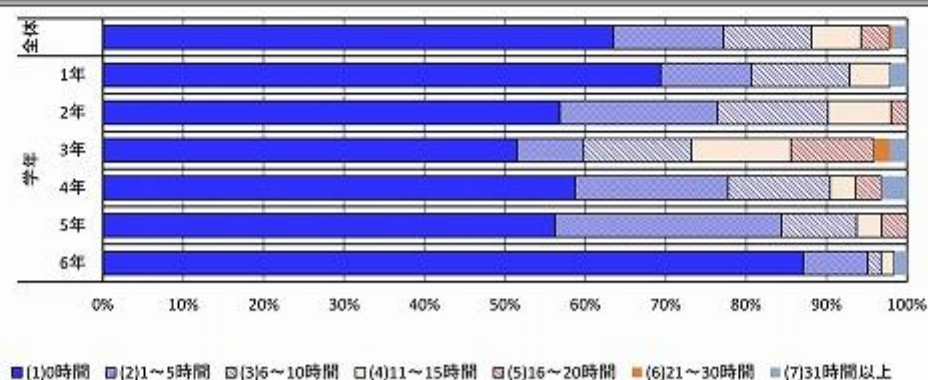
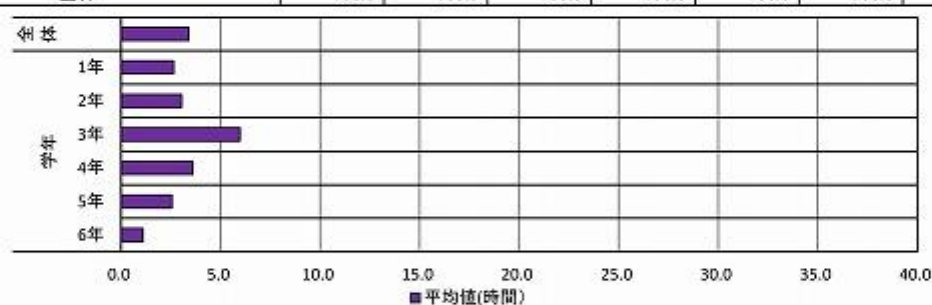


表3-6.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「就職に関わる活動」の回答状況

就職に関しては3年生以下では0時間と回答した学生が9割を超えており、就職のことを考えている学生は少数であることが読み取れます。4年生では22.2%、5年生・6年生では31.2%・27.4%の学生が就職活動に時間を取っていると回答しており、研修先病院を調べたり、見学に行ったりする学生が4年生頃から増える様子が読み取れます。病院見学や履歴書などの準備・採用試験は6年生の9月までに集中しているため、アンケートを取る時期によって4年生以降の数字は大きく動くものと考えられます。

回答肢 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	1.29	0.43	0.16	1.09	2.41	2.19	2.27
人数(人)							
(1)0時間 [0]	349	94	50	89	49	22	45
(2)1～5時間 [3]	37	3	0	5	7	8	14
(3)6～10時間 [8]	1	0	1	0	0	0	0
(4)11～15時間 [13]	6	0	0	0	5	1	0
(5)16～20時間 [18]	0	0	0	0	0	0	0
(6)21～30時間 [25]	1	0	0	1	0	0	0
(7)31時間以上 [33]	9	1	0	2	2	1	3
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	86.6	95.9	98.0	91.8	77.8	68.8	72.6
(2)1～5時間	9.2	3.1	0.0	5.2	11.1	25.0	22.6
(3)6～10時間	0.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(4)11～15時間	1.5	0.0	0.0	0.0	7.9	3.1	0.0
(5)16～20時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(6)21～30時間	0.2	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
(7)31時間以上	2.2	1.0	0.0	2.1	3.2	3.1	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

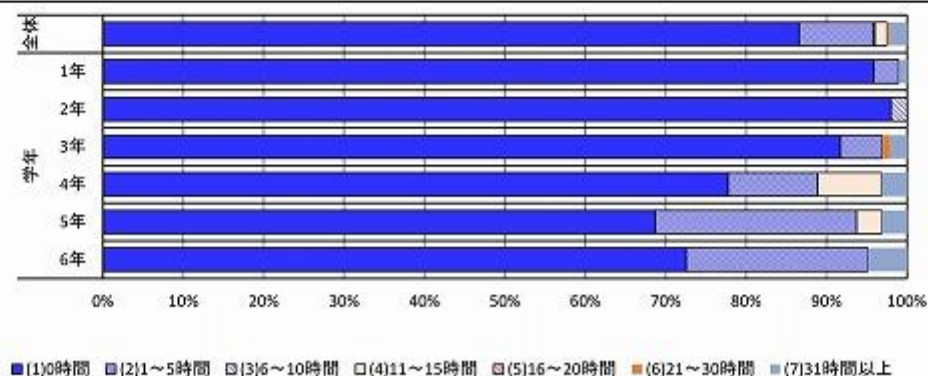
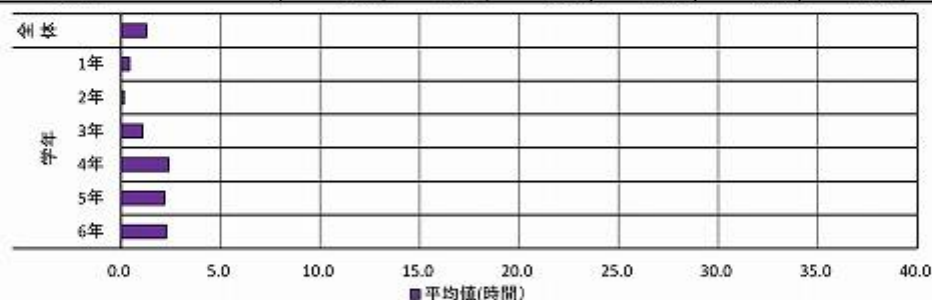
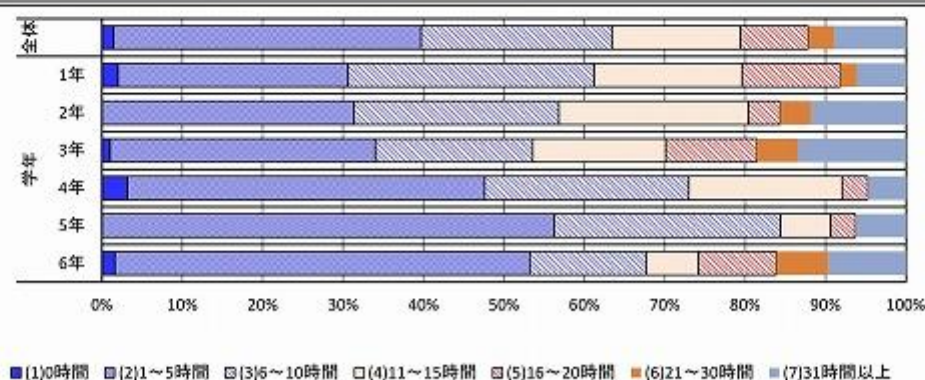
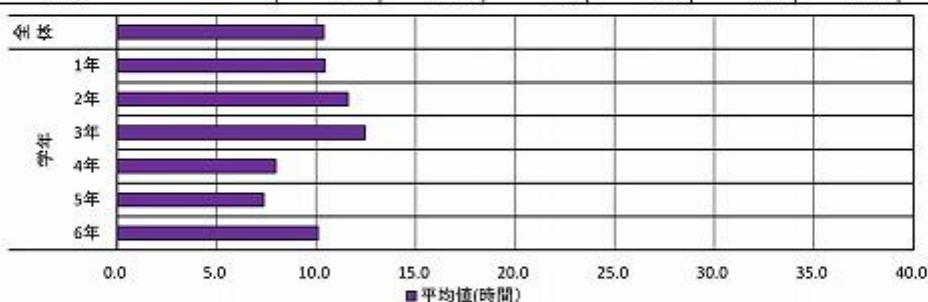


表3-7.「現在の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください」の「趣味/娯楽/交友」の回答状況

趣味・娯楽・交友に使う時間は平均で10.39時間となっており、2、3年生でやや多く、4、5年生でやや少なくなっている様子がわかります。

回答肢 [平均値算定用のスコア]	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均値(時間)	10.39	10.43	11.61	12.45	7.98	7.38	10.10
人数(人)							
(1)0時間 [0]	6	2	0	1	2	0	1
(2)1～5時間 [3]	154	28	16	32	28	18	32
(3)6～10時間 [8]	96	30	13	19	16	9	9
(4)11～15時間 [13]	64	18	12	16	12	2	4
(5)16～20時間 [18]	34	12	2	11	2	1	6
(6)21～30時間 [25]	13	2	2	5	0	0	4
(7)31時間以上 [33]	36	6	6	13	3	2	6
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)0時間	1.5	2.0	0.0	1.0	3.2	0.0	1.6
(2)1～5時間	38.2	28.6	31.4	33.0	44.4	56.3	51.6
(3)6～10時間	23.8	30.6	25.5	19.6	25.4	28.1	14.5
(4)11～15時間	15.9	18.4	23.5	16.5	19.0	6.3	6.5
(5)16～20時間	8.4	12.2	3.9	11.3	3.2	3.1	9.7
(6)21～30時間	3.2	2.0	3.9	5.2	0.0	0.0	6.5
(7)31時間以上	8.9	6.1	11.8	13.4	4.8	6.3	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



（３）学修方法の状況

・ 結 果

学修方法の状況について表 4-1～表 4-8 に示す。授業で意義や必要性の説明について、よくあった・ある程度あった、との回答の合計は全体で 82.4%となっており、特に 2 年生では 98.0%となっている。特に基礎医学系について、その意義や必要性をしっかりと提示している科目が多いことがわかる（表 4-1）。

教え方が工夫されていたかとの問いに対し、よくあった・ある程度あった、との回答の合計は全体で 76.6%となっている（表 4-2）。どの学年でも多数を占めており、教員が教え方に工夫していることを学生が理解していることがわかる。

教員以外の者が配置されていた、との問いに対してはよくあった・ある程度あったとの回答が全平均で 53.9%となっていた（表 4-3）。外部講師なのか、病院職員なのか、秘書なのか、どのような立場の方々を指しているのかは不明である。

期末テスト以外の小テスト・レポート課題などについてはよくあった・ある程度あったとの回答が全平均 82.1%とどの学年でも行われているようで、特に 1 年生・5 年生で高くなっている（表 4-4）。これは実習レポートを課される頻度が高いことを反映していると考えられる。

課題に対して「適切なコメントが付されて返却されているか」という問いに対しては、全体として 52.1%と評価は分かれており、これは各学年で同様である（表 4-5）。教員に望むフィードバックは学生により様々であることがわかる。

グループワーク・ディスカッションについてはよくあった・ある程度あったとする回答が全体の 84.4%を占めており、特に 1 年生で高く「よくあった」とする回答が 57.1%を占める（表 4-6）。低学年から頻回にグループ学習が取り入れられていることがわかる。

教員から意見を求められたり質疑応答の機会があったか、については全体の 70.7%がよくあった・ある程度あった、と回答しており、インタラクティブな講義・実習が取り入れられていることを反映している。特に 5 年生ではよくあった、との回答が 34.4%を占めており、臨床実習で教員から意見を求められたり、質疑応答したりする機会が多いものと考えられる（表 4-7）。

主に英語で行われる授業がよくあった・ある程度あった、とする回答は全体の 50.9%を占め、1～3 年生で 60%前後のやや高い数字が出ている（表 4-8）。一方ほとんどなかったとする回答も一定数あり、Medical English I～III 等の科目を語学科目と考えたか専門科目と考えたかで回答が分かれたものと考えられる。

・ 考 察

科目の意義・必要性の説明、教え方の工夫などの点では比較的高評価であり、またグループワーク・ディスカッションやインタラクティブな講義という観点でも高評価が多数を占めており、アクティブラーニング推進の観点からも好ましい結果となっている。ただしこうした授業面での工夫が成果に反映されているかについては不明であり、長期的な視点から学生・教員双方からの評価を得て、さらに検討が必要である。

表4-1 「授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた」の回答状況

大学に入ってから受けた授業で意義や必要性の説明について、よくあった・ある程度あった、との回答の合計は全体で82.4%となっており、特に2年生では98.0%となっています。特に基礎医学系について、その意義や必要性をしっかりと提示している科目が多いことがわかります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	75	28	10	15	6	11	5
(2)ある程度あった	257	58	40	65	45	16	33
(3)あまりなかった	55	12	1	13	8	4	17
(4)ほとんどなかった	16	0	0	4	4	1	7
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	18.6	28.6	19.6	15.5	9.5	34.4	8.1
(2)ある程度あった	63.8	59.2	78.4	67.0	71.4	50.0	53.2
(3)あまりなかった	13.6	12.2	2.0	13.4	12.7	12.5	27.4
(4)ほとんどなかった	4.0	0.0	0.0	4.1	6.3	3.1	11.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

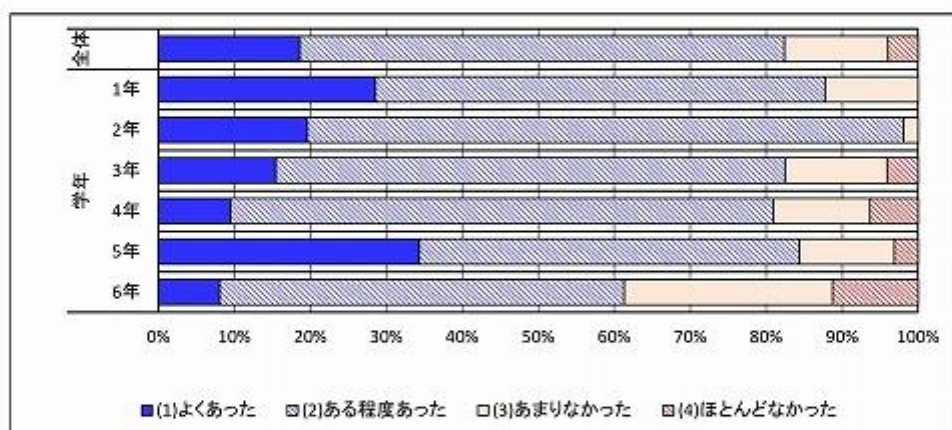


表4-2「理解がしやすいように教え方が工夫されていた」の回答状況

大学に入ってから受けた授業で教え方が工夫されていたかとの問いに対し、よくあった・ある程度あった、との回答の合計は全体で76.6%となっています。どの学年でも多数を占めており、教え方に工夫していることを学生も理解していることがわかります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	57	19	6	12	4	10	6
(2)ある程度あった	252	55	40	61	44	17	35
(3)あまりなかった	73	22	5	16	11	4	15
(4)ほとんどなかった	21	2	0	8	4	1	6
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	14.1	19.4	11.8	12.4	6.3	31.3	9.7
(2)ある程度あった	62.5	56.1	78.4	62.9	69.8	53.1	56.5
(3)あまりなかった	18.1	22.4	9.8	16.5	17.5	12.5	24.2
(4)ほとんどなかった	5.2	2.0	0.0	8.2	6.3	3.1	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

G18:H26

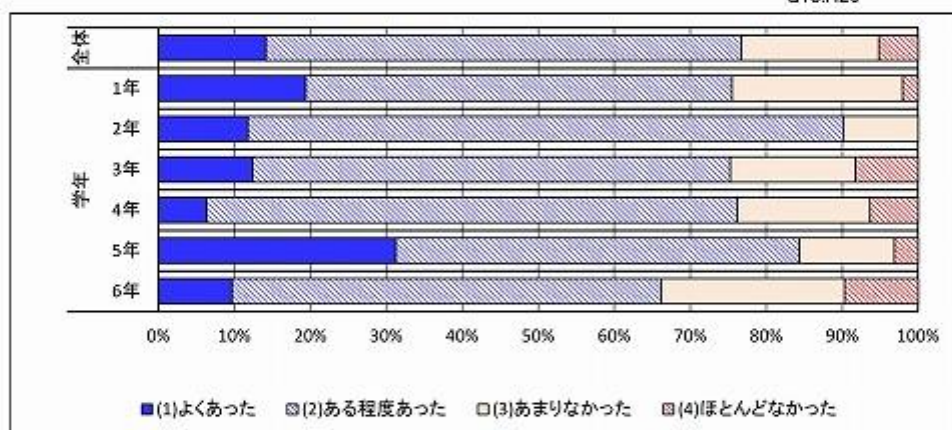


表4-3「教員以外の者(アシスタントなど)が配置されており、補助的な指導があった」の回答状況
 教員以外の者が配置されていた、との回答はよくあった・ある程度あったを合わせ、全平均で53.9%となっています。外部講師なのか、病院職員なのか、秘書なのか、どのような立場の方々を指しているのかは不明です。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	47	19	4	7	6	6	5
(2)ある程度あった	170	43	26	38	28	11	24
(3)あまりなかった	135	27	16	40	20	13	19
(4)ほとんどなかった	51	9	5	12	9	2	14
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	11.7	19.4	7.8	7.2	9.5	18.8	8.1
(2)ある程度あった	42.2	43.9	51.0	39.2	44.4	34.4	38.7
(3)あまりなかった	33.5	27.6	31.4	41.2	31.7	40.6	30.6
(4)ほとんどなかった	12.7	9.2	9.8	12.4	14.3	6.3	22.6
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

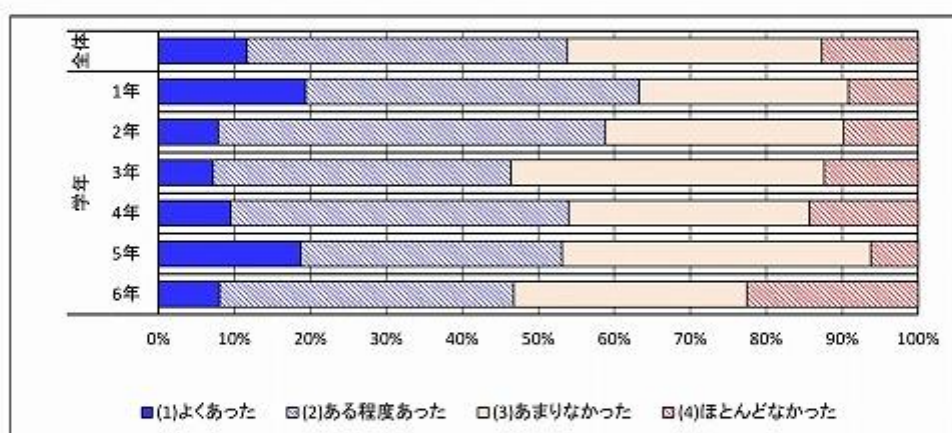


表4-4「小テストやレポートなどの課題が出された。※期末テストは除く」の回答状況

期末テスト以外的小テスト・レポート課題などについてはどの学年でも行われているようで、特に1年生・5年生で高くなっています。これは実習レポートを課される頻度が高いことを反映していると考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	135	57	15	29	14	12	8
(2)ある程度あった	196	36	24	49	33	18	36
(3)あまりなかった	58	5	11	16	12	2	12
(4)ほとんどなかった	14	0	1	3	4	0	6
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	33.5	58.2	29.4	29.9	22.2	37.5	12.9
(2)ある程度あった	48.6	36.7	47.1	50.5	52.4	56.3	58.1
(3)あまりなかった	14.4	5.1	21.6	16.5	19.0	6.3	19.4
(4)ほとんどなかった	3.5	0.0	2.0	3.1	6.3	0.0	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

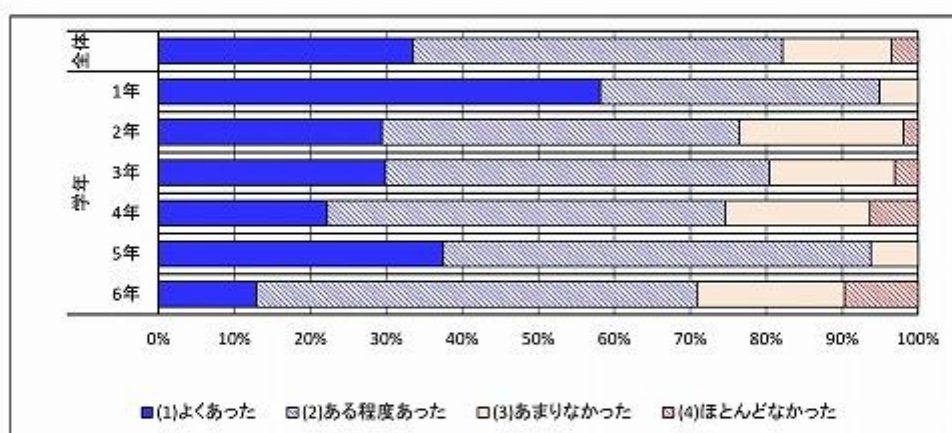


表4-5「適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された」の回答状況

課題に対して「適切なコメントが付されて返却されているか」という問いに対しては、全体として52.1%となっていて評価は分かれており、これは各学年で同様です。教員に望むフィードバックは学生により様々であることがわかります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	40	10	6	9	4	8	3
(2)ある程度あった	170	48	20	33	29	13	27
(3)あまりなかった	117	26	19	29	19	8	16
(4)ほとんどなかった	76	14	6	26	11	3	16
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	9.9	10.2	11.8	9.3	6.3	25.0	4.8
(2)ある程度あった	42.2	49.0	39.2	34.0	46.0	40.6	43.5
(3)あまりなかった	29.0	26.5	37.3	29.9	30.2	25.0	25.8
(4)ほとんどなかった	18.9	14.3	11.8	26.8	17.5	9.4	25.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

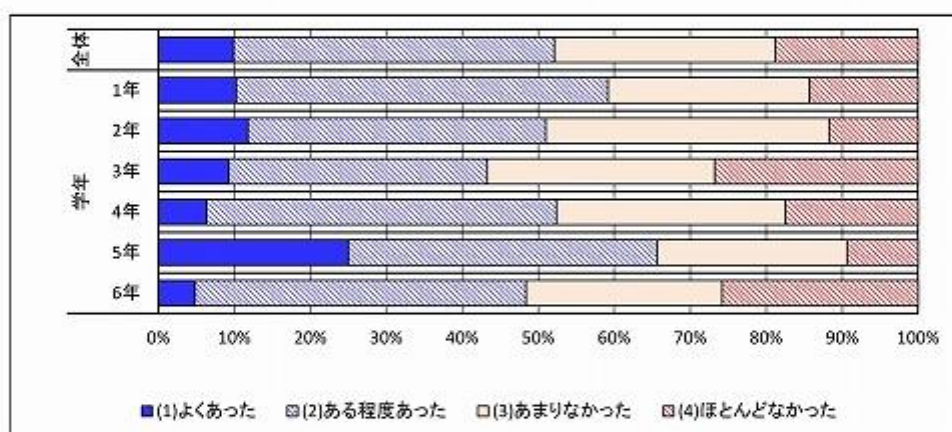


表4-6「グループワークやディスカッションの機会があった」の回答状況

グループワーク・ディスカッションについてはよくあった・ある程度あったとする回答が全体の84.4%を占めており、1年生では「よくあった」とする回答が57.1%を占めています。低学年から頻回にグループ学習が取り入れられていることがわかります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	133	56	10	29	15	10	13
(2)ある程度あった	207	32	26	61	38	17	33
(3)あまりなかった	51	8	13	6	9	5	10
(4)ほとんどなかった	12	2	2	1	1	0	6
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	33.0	57.1	19.6	29.9	23.8	31.3	21.0
(2)ある程度あった	51.4	32.7	51.0	62.9	60.3	53.1	53.2
(3)あまりなかった	12.7	8.2	25.5	6.2	14.3	15.6	16.1
(4)ほとんどなかった	3.0	2.0	3.9	1.0	1.6	0.0	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

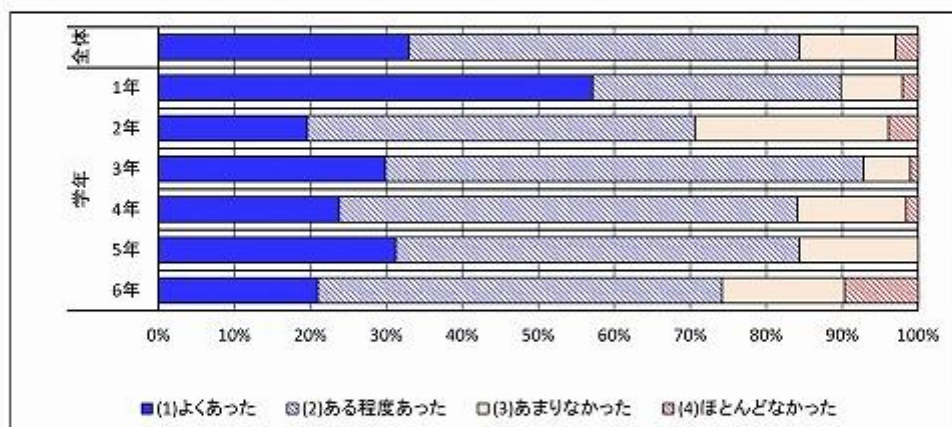


表4-7「教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった」の回答状況

教員から意見を求められたり質疑応答の機会があったか、については全体の70.7%がよくあった・ある程度あった、と回答しています。特に5年生ではよくあった、との回答が34.4%を占めており、臨床実習で教員から意見を求められたり、質疑応答したりする機会が多いものと考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	56	17	4	11	6	11	7
(2)ある程度あった	229	56	27	57	42	16	31
(3)あまりなかった	96	23	18	23	10	5	17
(4)ほとんどなかった	22	2	2	6	5	0	7
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	13.9	17.3	7.8	11.3	9.5	34.4	11.3
(2)ある程度あった	56.8	57.1	52.9	58.8	66.7	50.0	50.0
(3)あまりなかった	23.8	23.5	35.3	23.7	15.9	15.6	27.4
(4)ほとんどなかった	5.5	2.0	3.9	6.2	7.9	0.0	11.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

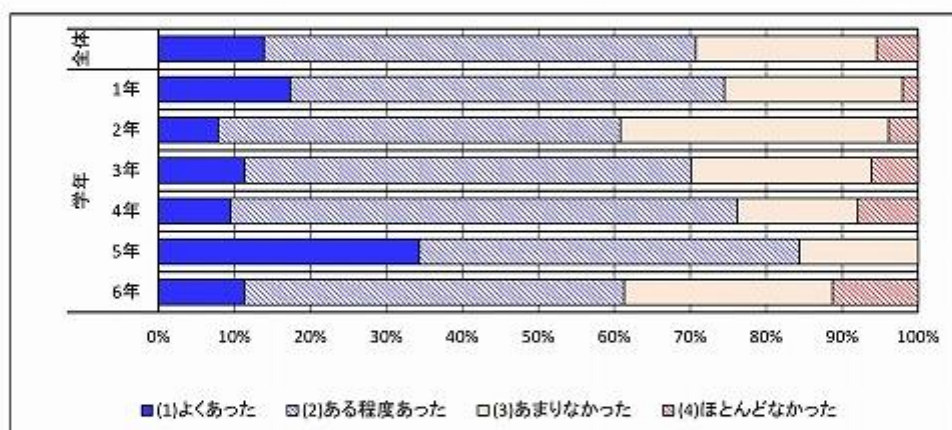
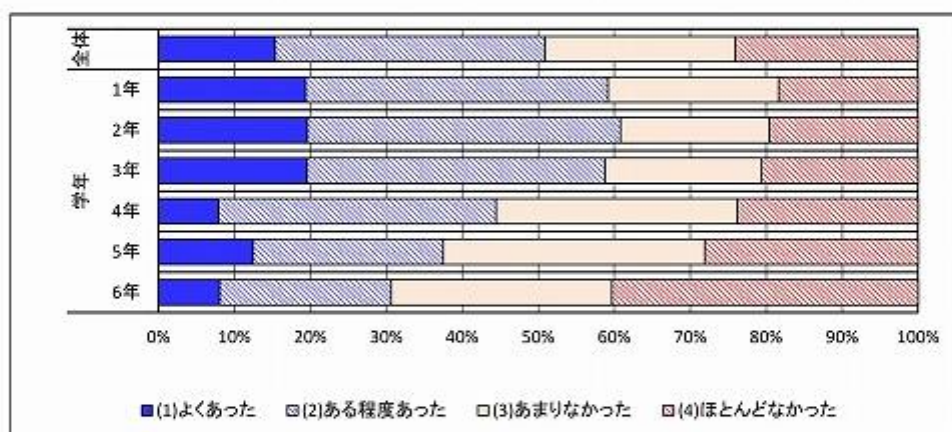


表4-8.「主に英語で行われる授業(語学科目は除く)があった」の回答状況

主に英語で行われる授業がよくあった・ある程度あった、とする回答は全体の50.9%を占め、1～3年生で60%前後のやや高い数字が出ています。一方ほとんどなかったとする回答も一定数あり、Medical English I～IIIなどの科目を語学科目と考えたか専門科目と考えたかで回答が分かれたものと考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)よくあった	62	19	10	19	5	4	5
(2)ある程度あった	143	39	21	38	23	8	14
(3)あまりなかった	101	22	10	20	20	11	18
(4)ほとんどなかった	97	18	10	20	15	9	25
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)よくあった	15.4	19.4	19.6	19.6	7.9	12.5	8.1
(2)ある程度あった	35.5	39.8	41.2	39.2	36.5	25.0	22.6
(3)あまりなかった	25.1	22.4	19.6	20.6	31.7	34.4	29.0
(4)ほとんどなかった	24.1	18.4	19.6	20.6	23.8	28.1	40.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



（４）学修成果の状況

・ 結 果

大学教育が様々な側面から「役に立っているか」との質問に対しての結果を表 5-1～表 5-11 に示す。全平均で下記の結果であった。

専門分野に関する知識・理解	89.8%	（表 5-1）
将来の仕事に関連しうる知識・技能	90.3%	（表 5-2）
文献・資料・データを収集・分析する力	73.2%	（表 5-3）
論理的に文章を書く力	67.1%	（表 5-4）
人に分かりやすく話す力	71.9%	（表 5-5）
外国語を使う力	48.8%	（表 5-6）
統計数理の知識・技能	52.5%	（表 5-7）
問題を見つけ、解決方法を考える力	77.6%	（表 5-8）
多様な人々と協働する力	82.1%	（表 5-9）
幅広い知識、ものの見方	80.3%	（表 5-10）
異なる文化に関する知識・理解	63.4%	（表 5-11）

学生が目指す「医師」という仕事に対して直接役立つと考える学生が多数を占め、専門教育の目的が効果とともに実感されていることがうかがえる。

一方「外国語を使う力」に対する回答が半数を切っており、学年を追うごと低下する傾向にある（表 5-6）。高学年になるにつれて「役に立っていない」とする回答が増えていくのは、Native Speaker を講師とする科目がなくなり、実際に英語で話したり書いたりする機会がなくなることが理由と考えられる。

「統計数理の知識・技能について」も全平均 52.5%と低くなっているのは、実験・実習で自ら統計的な処理を行う機会がほとんどなかったり、論文に触れる機会が少ないことを反映している可能性がある（表 5-7）。

・ 考 察

大学教育が「役に立っているか」との観点では、「外国語を使う力」と「統計数理の知識・技能」で評価が低くなっていた。外国語については医学・医療や研究等で外国語を使うことであったり、統計数理については論文を読んだりや実験・研究結果を分析したりする際に役に立つかどうか、という視点で学生は回答していると考えられる。英語教育を目的とする科目ばかりではなく、その他の講義・実習でも適宜外国語を使う機会を導入していくことが想定される。また実習でのデータ分析や論文を読む機会を増やし、実際に統計処理をする機会・触れる機会を増やすことも考えられる。今年度からは３年生で「医学研究演習」が新設されているが、外国語と統計処理に触れることが望まれる。

表5-1「専門分野に関する知識・理解」の回答状況

自分が受けた大学教育が専門分野に関する知識・理解にどの程度役に立っているか、との質問に対し、全体の89.8%がとても役に立っている・役に立っていると回答しました。特に2年生では98.1%がそう回答しており、基礎医学が医学の修得に役に立つことは十分理解されていると解釈できます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	111	29	14	29	10	14	15
(2)役に立っている	250	54	36	58	47	17	38
(3)あまり役に立っていない	33	13	1	8	4	1	6
(4)役に立っていない	8	1	0	2	2	0	3
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	27.6	29.9	27.5	29.9	15.9	43.8	24.2
(2)役に立っている	62.2	55.7	70.6	59.8	74.6	53.1	61.3
(3)あまり役に立っていない	8.2	13.4	2.0	8.2	6.3	3.1	9.7
(4)役に立っていない	2.0	1.0	0.0	2.1	3.2	0.0	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

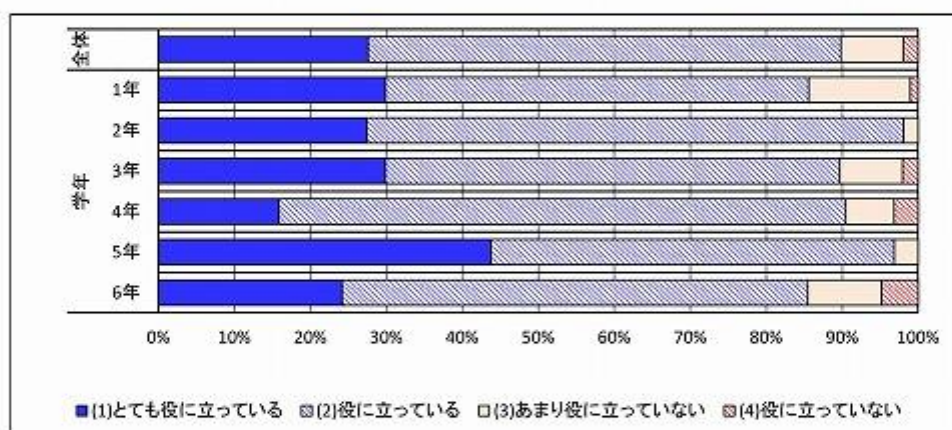


表5-2「将来の仕事に関連する知識・技能」の回答状況

自分が受けた大学教育が将来の仕事に関連する知識・技能にどの程度役に立っているか、との質問に対し、全体の90.3%が「とても役に立っている・役に立っている」と回答しました。特に2年生では全員がそう回答しており、基礎医学が将来医師として仕事をする上で役立つことは十分理解されていると解釈できます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	127	36	20	27	10	17	17
(2)役に立っている	236	50	31	62	44	14	35
(3)あまり役に立っていない	30	9	0	7	6	1	7
(4)役に立っていない	9	2	0	1	3	0	3
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	31.6	37.1	39.2	27.8	15.9	53.1	27.4
(2)役に立っている	58.7	51.5	60.8	63.9	69.8	43.8	56.5
(3)あまり役に立っていない	7.5	9.3	0.0	7.2	9.5	3.1	11.3
(4)役に立っていない	2.2	2.1	0.0	1.0	4.8	0.0	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

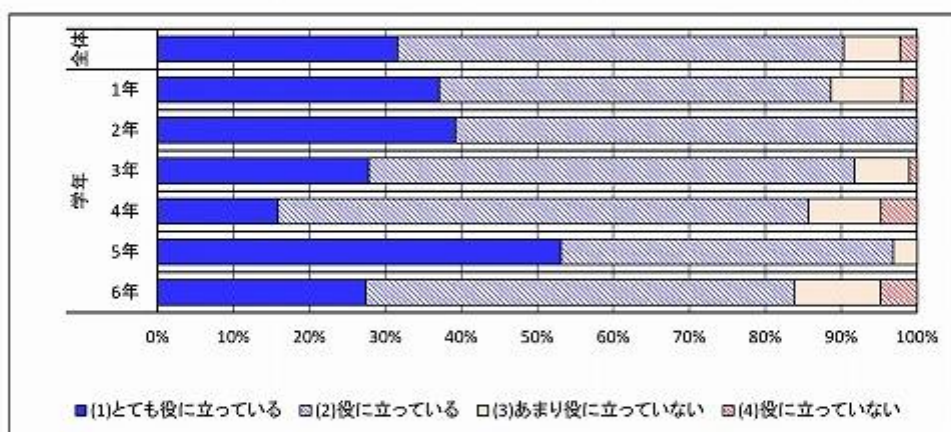


表5-3「文献・資料・データを収集・分析する力」の回答状況

「文献・資料・データを収集・分析する力」についてはとても役に立っている・役に立っていると回答は全体の73.2%でした。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	69	21	9	20	4	9	6
(2)役に立っている	225	51	28	54	40	19	33
(3)あまり役に立っていない	88	24	11	17	15	4	17
(4)役に立っていない	20	1	3	6	4	0	6
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	17.2	21.6	17.6	20.6	6.3	28.1	9.7
(2)役に立っている	56.0	52.6	54.9	55.7	63.5	59.4	53.2
(3)あまり役に立っていない	21.9	24.7	21.6	17.5	23.8	12.5	27.4
(4)役に立っていない	5.0	1.0	5.9	6.2	6.3	0.0	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

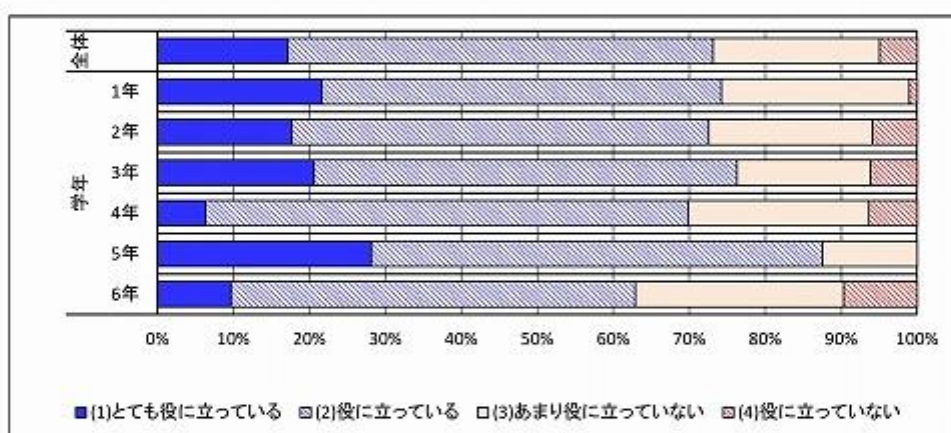


表5-4「論理的に文章を書く力」の回答状況

「論理的に文章を書く力」についてはとても役に立っている・役に立っているとした回答は全体の67.1%でした。5年生では84.4%となっており、臨床実習におけるレポート作成などが論理的文章を書く力につながっていると実感していると考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	56	16	8	18	4	7	3
(2)役に立っている	214	54	29	49	34	20	28
(3)あまり役に立っていない	104	21	12	22	19	5	25
(4)役に立っていない	28	6	2	8	6	0	6
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	13.9	16.5	15.7	18.6	6.3	21.9	4.8
(2)役に立っている	53.2	55.7	56.9	50.5	54.0	62.5	45.2
(3)あまり役に立っていない	25.9	21.6	23.5	22.7	30.2	15.6	40.3
(4)役に立っていない	7.0	6.2	3.9	8.2	9.5	0.0	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

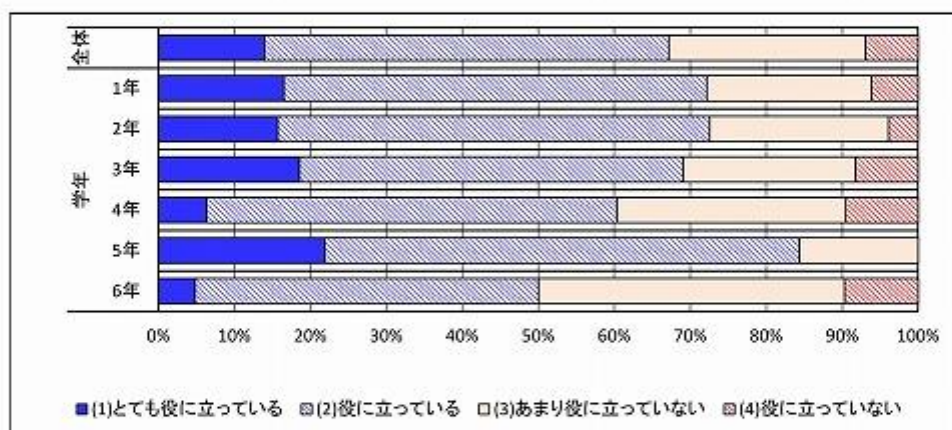


表5-5「人に分かりやすく話す力」の回答状況

「人に分かりやすく話す力」についてはとても役に立っている・役に立っていると回答は全体の71.9%でした。5年生では87.5%となっており、臨床実習における教員や患者とのやり取り、カンファレンス等が人に分かりやすく話す力につながることを実感していると考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	66	20	9	18	6	8	5
(2)役に立っている	223	53	31	53	36	20	30
(3)あまり役に立っていない	88	19	10	19	17	4	19
(4)役に立っていない	25	5	1	7	4	0	8
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	16.4	20.6	17.6	18.6	9.5	25.0	8.1
(2)役に立っている	55.5	54.6	60.8	54.6	57.1	62.5	48.4
(3)あまり役に立っていない	21.9	19.6	19.6	19.6	27.0	12.5	30.6
(4)役に立っていない	6.2	5.2	2.0	7.2	6.3	0.0	12.9
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

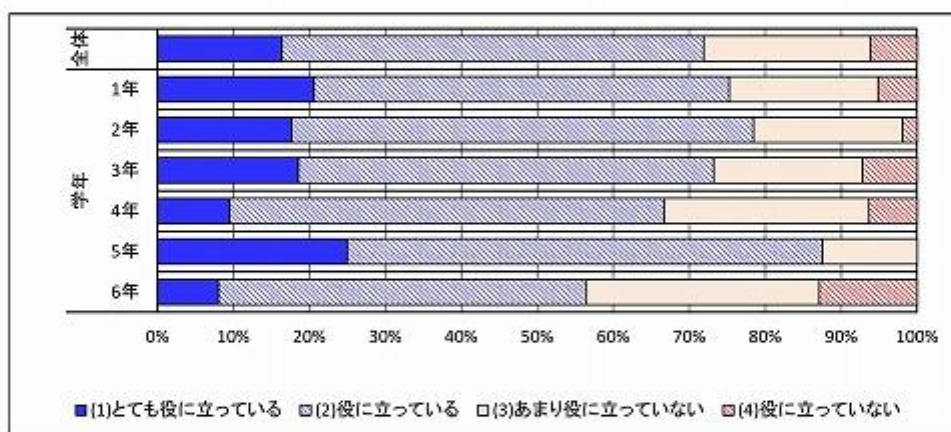


表5-6「外国語を使う力」の回答状況

「外国語を使う力」についてはとても役に立っている・役に立っていると回答は全体の48.8%で、学年を追うごと低下する傾向にありました。高学年になるにつれて「役に立っていない」とする回答が増えていくのは、Native Speakersを講師とする科目がなくなることが理由のひとつと考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	39	15	6	12	3	2	1
(2)役に立っている	157	55	23	38	18	10	13
(3)あまり役に立っていない	133	18	17	31	29	13	25
(4)役に立っていない	73	9	5	16	13	7	23
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	9.7	15.5	11.8	12.4	4.8	6.3	1.6
(2)役に立っている	39.1	56.7	45.1	39.2	28.6	31.3	21.0
(3)あまり役に立っていない	33.1	18.6	33.3	32.0	46.0	40.6	40.3
(4)役に立っていない	18.2	9.3	9.8	16.5	20.6	21.9	37.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

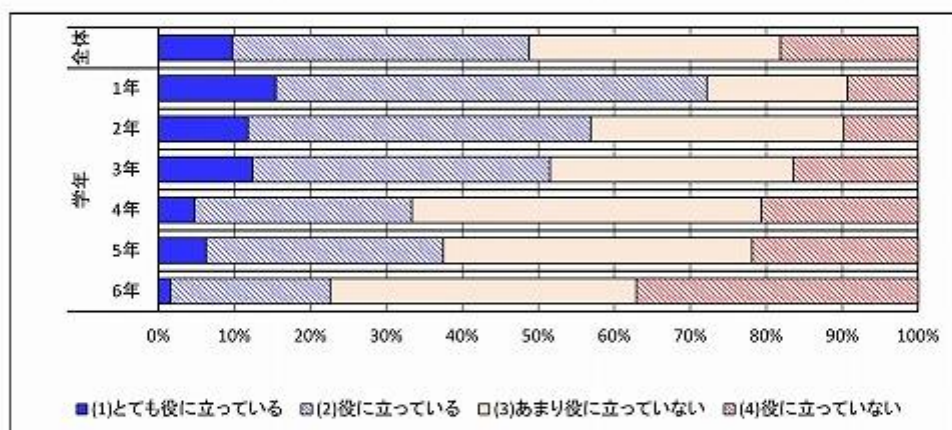


表5-7.「統計数理の知識・技能」の回答状況

「統計数理の知識・技能」についてはとても役に立っている・役に立っているとした回答は全体の52.5%でした。各学年とも意見が分かれる傾向にあります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	37	9	4	15	3	5	1
(2)役に立っている	174	42	33	35	25	16	23
(3)あまり役に立っていない	147	36	12	37	26	10	26
(4)役に立っていない	44	10	2	10	9	1	12
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	9.2	9.3	7.8	15.5	4.8	15.6	1.6
(2)役に立っている	43.3	43.3	64.7	36.1	39.7	50.0	37.1
(3)あまり役に立っていない	36.6	37.1	23.5	38.1	41.3	31.3	41.9
(4)役に立っていない	10.9	10.3	3.9	10.3	14.3	3.1	19.4
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

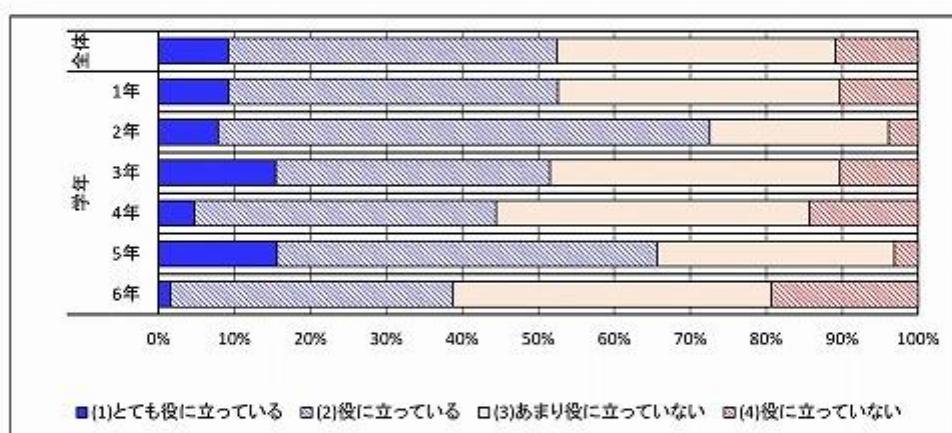


表5-8.「問題を見つけ、解決方法を考える力」の回答状況

「問題を見つけ、解決方法を考える力」についてはとても役に立っている・役に立っていると回答は全体の77.6%でした。5年生では34.4%がとても役に立っているとおり、臨床実習で問題発見・解決能力を身に付けていることを実感していると考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	59	14	6	17	7	11	4
(2)役に立っている	253	61	38	60	41	16	37
(3)あまり役に立っていない	67	18	7	17	9	5	11
(4)役に立っていない	23	4	0	3	6	0	10
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	14.7	14.4	11.8	17.5	11.1	34.4	6.5
(2)役に立っている	62.9	62.9	74.5	61.9	65.1	50.0	59.7
(3)あまり役に立っていない	16.7	18.6	13.7	17.5	14.3	15.6	17.7
(4)役に立っていない	5.7	4.1	0.0	3.1	9.5	0.0	16.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

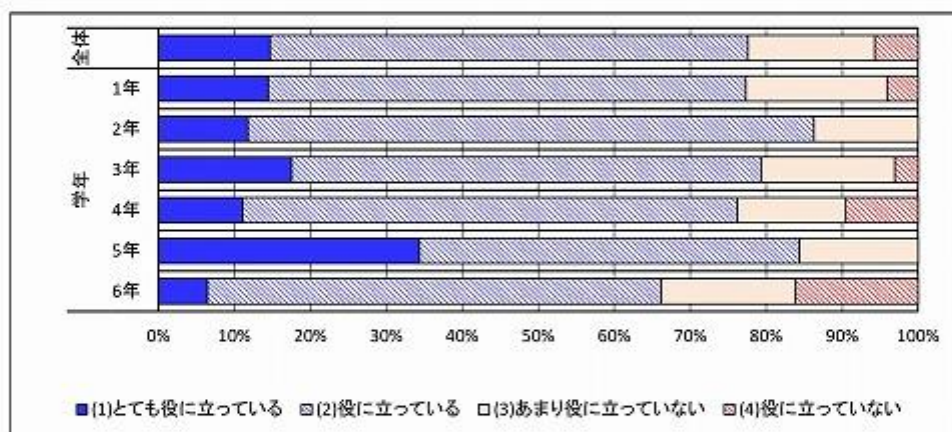


表5-9「多様な人々と協働する力」の回答状況

「多様な人々と協働する力」についてはとても役に立っている・役に立っているとした回答は全体の82.1%でした。グループ学習・ディスカッションを取り入れた授業が多いことを反映しているかもしれません。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	91	23	14	19	12	11	12
(2)役に立っている	239	61	28	56	44	17	33
(3)あまり役に立っていない	55	10	9	19	4	4	9
(4)役に立っていない	17	3	0	3	3	0	8
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	22.6	23.7	27.5	19.6	19.0	34.4	19.4
(2)役に立っている	59.5	62.9	54.9	57.7	69.8	53.1	53.2
(3)あまり役に立っていない	13.7	10.3	17.6	19.6	6.3	12.5	14.5
(4)役に立っていない	4.2	3.1	0.0	3.1	4.8	0.0	12.9
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

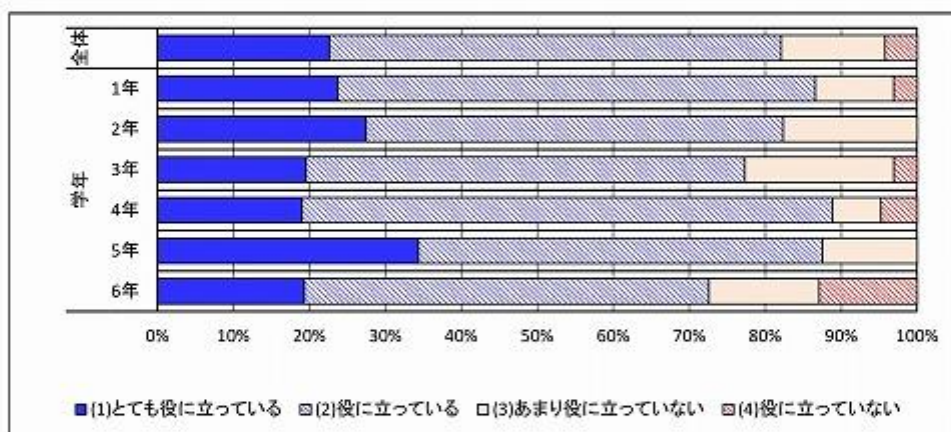


表5-10.「幅広い知識、ものの見方」の回答状況

「幅広い知識、ものの見方」についてはとても役に立っている・役に立っているとした回答は全体の80.3%でした。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	87	21	14	25	10	11	6
(2)役に立っている	236	59	28	53	40	15	41
(3)あまり役に立っていない	59	16	9	13	8	6	7
(4)役に立っていない	20	1	0	6	5	0	8
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	21.6	21.6	27.5	25.8	15.9	34.4	9.7
(2)役に立っている	58.7	60.8	54.9	54.6	63.5	46.9	66.1
(3)あまり役に立っていない	14.7	16.5	17.6	13.4	12.7	18.8	11.3
(4)役に立っていない	5.0	1.0	0.0	6.2	7.9	0.0	12.9
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

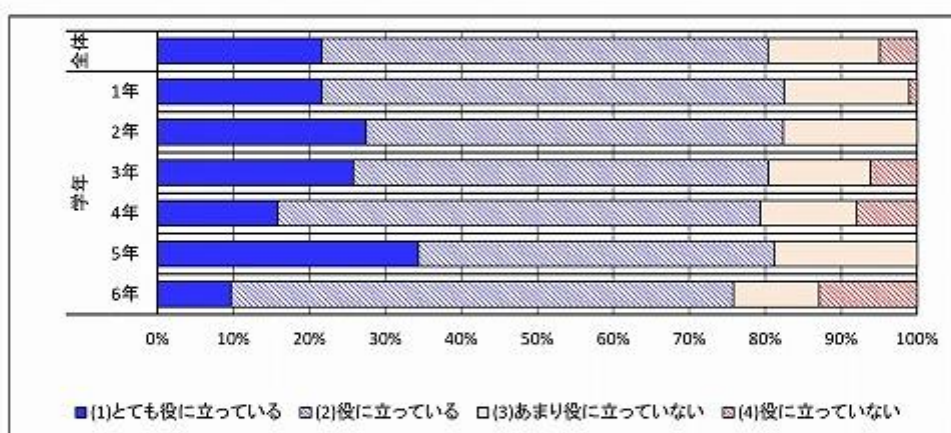
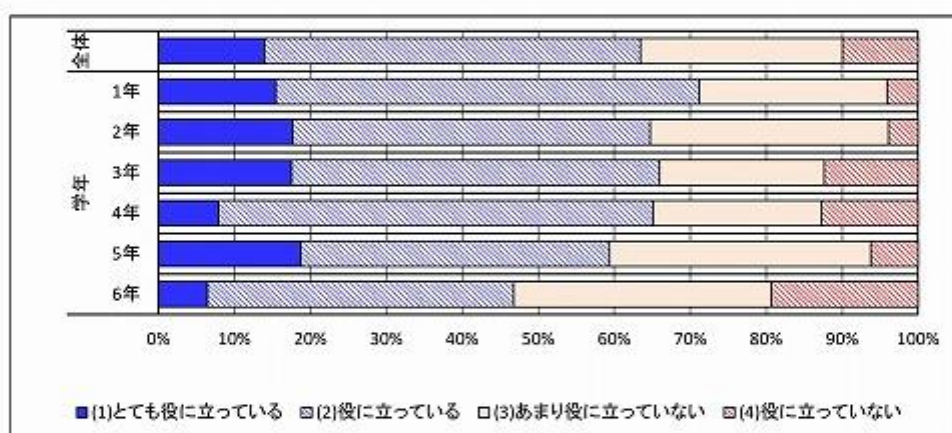


表5-11.「異なる文化に関する知識・理解」の回答状況

「異なる文化に関する知識・理解」についてはとても役に立っている・役に立っていると回答は全体の63.4%でした。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)とても役に立っている	56	15	9	17	5	6	4
(2)役に立っている	199	54	24	47	36	13	25
(3)あまり役に立っていない	107	24	16	21	14	11	21
(4)役に立っていない	40	4	2	12	8	2	12
全体	402	97	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)とても役に立っている	13.9	15.5	17.6	17.5	7.9	18.8	6.5
(2)役に立っている	49.5	55.7	47.1	48.5	57.1	40.6	40.3
(3)あまり役に立っていない	26.6	24.7	31.4	21.6	22.2	34.4	33.9
(4)役に立っていない	10.0	4.1	3.9	12.4	12.7	6.3	19.4
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



（５）教育・制度の課題

・ 結 果

教育・制度について整備・充実してほしいかとの問いに対する結果を表 6-1～表 6-8 に示す。そう思う、ある程度そう思うと回答した比率は下記の通り

（カッコ内は自由記載（問 7）で指摘のあった件数）

カリキュラム	81.6%	(35 件)	(表 6-1)
オンライン学修	84.7%	(45 件)	(表 6-2)
授業・試験・成績などの教務情報	86.9%	(9 件)	(表 6-3)
資格取得講座（対策授業）	69.0%	(0 件)	(表 6-4)
就職支援・進路相談	74.2%	(0 件)	(表 6-5)
奨学金制度の新設や増額	70.5%	(0 件)	(表 6-6)
留学制度・海外研修プログラム	70.5%	(0 件)	(表 6-7)
クラブ活動・ボランティア活動支援	75.0%	(7 件)	(表 6-8)

数値としては 70.5%～86.9%の範囲にあり、いずれの項目に置いても何らかの整備・充実・改善すべき点があると考えられるが、自由記載において指摘のあった内容（のべ 96 件）を分類し関連する項目に割り当てていくと、件数には大きな差が認められた。

最も件数の多かったオンライン学修（45 件）は今年度の新型コロナ禍対応により新たに導入されたことに対応しているが、内容としては資料配信方法（18 件）と出席管理方法（8 件）の改善要望が多かった。オンライン導入を好意的に捉えている意見とともにオンデマンド配信の導入（7 件）を望む声もあった。

カリキュラム（35 件）については試験が厳しい（17 件）ことと一部科目に対する不満（12 件）に集中している。

・ 考 察

授業についてはオンライン講義導入後半年を経てシステムが整備されてきたこともあり、オンライン講義そのものに対する否定的な意見は少ないが、資料配信と出席管理については問題点が多数指摘されている。まず講義資料配信がオンラインで行われているため、オンライン講義視聴と並行して資料を見ることの難しさが指摘されている。資料提示は講義の質を担保するための基本であり、実態を把握した上でオンライン講義に対応したシステムを整備する必要がある。出席管理は操作ミスや各自の機器の不具合により欠席となってしまうことや、時に操作が煩雑になることが指摘されており、公正に効率よく実施する方法をさらに検討する必要がある。

授業の進め方については概ね良好な評価であったが、否定的な評価があったり自由記載で一部科目に対する問題点の指摘があるなど、改善が必要な点もあると考えられる。個々の科目での対応が必要な案件であるが、現時点で授業評価は行われているものの、学生的心声を教員にフィードバックする仕組みがうまく機能しておらず、また問題点を学部として把握しきれているとは言い難い。学生から改善につながる意見を効率よく収集し教員にフィードバックする方法を検討し、その導入により学修成果を高めていくことが望まれる。

その他カリキュラムについては試験が厳しいとの指摘が多い。学修目標の適否や講義等が無駄や不備がないかを改めて検討し、学修効率を高めて修得を促すことができるよう、改善へ向けさらなる検討を続けるべきである。

表6-1.「カリキュラム」の回答状況

カリキュラムを整備・充実してほしいか、との問いには81.6%がそう思う・ある程度そう思うとしていました。各学年で多少の差はあるものの、全体の傾向は大きく変わりません。各学年のカリキュラムにおいて問題点を抽出し、改善につなげていく必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	135	44	17	34	12	12	16
(2)ある程度そう思う	194	40	30	39	37	16	32
(3)あまりそう思わない	55	11	3	17	11	3	10
(4)そう思わない	19	3	1	7	3	1	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	33.5	44.9	33.3	35.1	19.0	37.5	25.8
(2)ある程度そう思う	48.1	40.8	58.8	40.2	58.7	50.0	51.6
(3)あまりそう思わない	13.6	11.2	5.9	17.5	17.5	9.4	16.1
(4)そう思わない	4.7	3.1	2.0	7.2	4.8	3.1	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

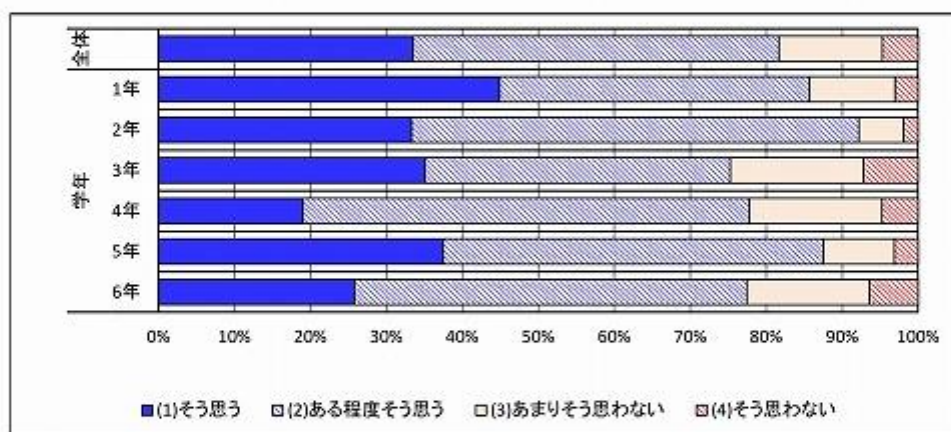


表6-2「オンライン学修」の回答状況

オンライン学修を整備・充実してほしいか、との問いには84.7%がそう思う・ある程度そう思うとしていました。各学年で多少の差はあるものの、全体の傾向は大きく変わりません。今後オンライン授業を継続し、あるいはCOVID-19終息後も通常講義にオンライン講義・教材を取り入れていくのであれば、すでに多くの問題点があることを念頭に置き、改善していく必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	184	56	24	54	23	8	19
(2)ある程度そう思う	157	33	22	29	26	15	32
(3)あまりそう思わない	45	9	4	11	10	5	6
(4)そう思わない	17	0	1	3	4	4	5
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	45.7	57.1	47.1	55.7	36.5	25.0	30.6
(2)ある程度そう思う	39.0	33.7	43.1	29.9	41.3	46.9	51.6
(3)あまりそう思わない	11.2	9.2	7.8	11.3	15.9	15.6	9.7
(4)そう思わない	4.2	0.0	2.0	3.1	6.3	12.5	8.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

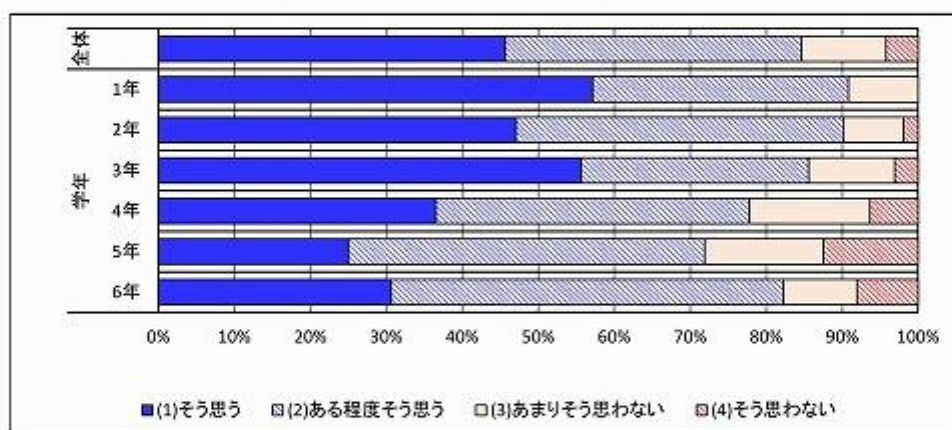


表6-3「授業・試験・成績などの教務情報」の回答状況

授業・試験・成績などの教務情報を整備・充実してほしいか、との問いには86.9%がそう思う・ある程度そう思うとしていました。問題点を抽出し、改善につなげていく必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	161	52	23	36	18	11	21
(2)ある程度そう思う	189	33	25	48	35	17	31
(3)あまりそう思わない	41	11	2	7	9	4	8
(4)そう思わない	12	2	1	6	1	0	2
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	40.0	53.1	45.1	37.1	28.6	34.4	33.9
(2)ある程度そう思う	46.9	33.7	49.0	49.5	55.6	53.1	50.0
(3)あまりそう思わない	10.2	11.2	3.9	7.2	14.3	12.5	12.9
(4)そう思わない	3.0	2.0	2.0	6.2	1.6	0.0	3.2
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

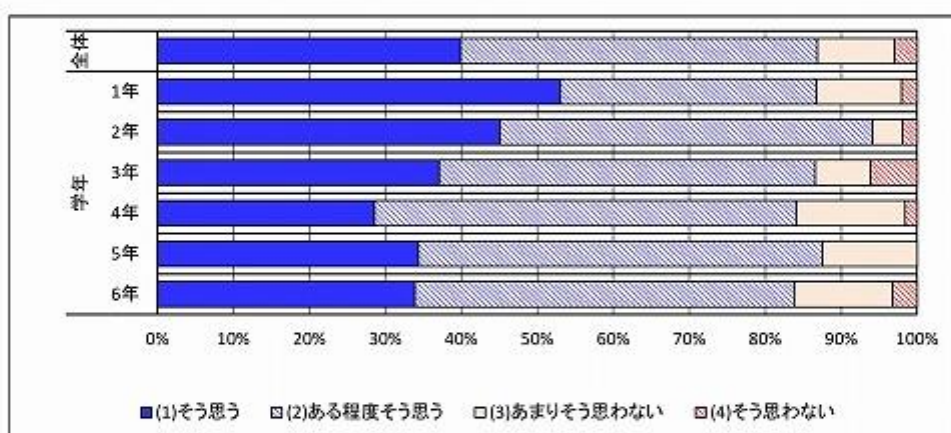


表6-4「資格取得講座(対策授業)」の回答状況

資格取得講座(対策授業)を整備・充実してほしいか、との問いには69.0%がそう思う・ある程度そう思うとしていました。この問いは「CBTや医師国家試験取得のための講座」ととらえるか、一般的な各種検定試験と捉えるかにより回答が変わってきた可能性があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	92	26	12	24	9	8	13
(2)ある程度そう思う	186	38	23	40	35	16	34
(3)あまりそう思わない	93	27	15	21	13	8	9
(4)そう思わない	32	7	1	12	6	0	6
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	22.8	26.5	23.5	24.7	14.3	25.0	21.0
(2)ある程度そう思う	46.2	38.8	45.1	41.2	55.6	50.0	54.8
(3)あまりそう思わない	23.1	27.6	29.4	21.6	20.6	25.0	14.5
(4)そう思わない	7.9	7.1	2.0	12.4	9.5	0.0	9.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

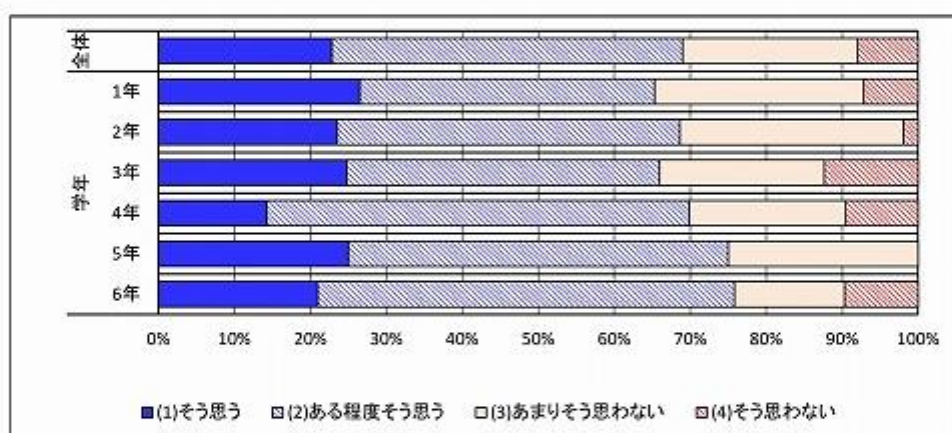


表6-5「就職支援・進路相談」の回答状況

就職支援・進路相談を整備・充実してほしいか、との問いには74.2%がそう思う・ある程度そう思うとしており、特に5年生で84.4%と高くなっていました。すでに多くの診療科の先生方が学生向けに各種説明会を開いたり、学生の相談に乗ったりしているところですが、学生の要望に十分応えられるような体制づくりをさらに進めて必要があります。

M5	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
(1)そう思う	94	24	10	21	13	12	14
(2)ある程度そう思う	205	47	27	51	32	15	33
(3)あまりそう思わない	79	22	13	13	14	5	12
(4)そう思わない	25	5	1	12	4	0	3
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	23.3	24.5	19.6	21.6	20.6	37.5	22.6
(2)ある程度そう思う	50.9	48.0	52.9	52.6	50.8	46.9	53.2
(3)あまりそう思わない	19.6	22.4	25.5	13.4	22.2	15.6	19.4
(4)そう思わない	6.2	5.1	2.0	12.4	6.3	0.0	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

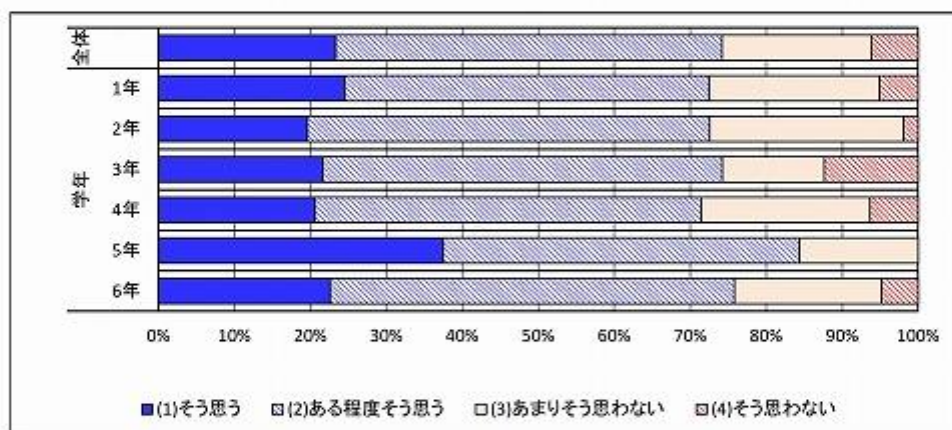


表6-6.「奨学金制度の新設や増額」の回答状況

奨学金制度の新設や増額を整備・充実してほしいか、との問いには70.5%がそう思う・ある程度そう思うとしています。新型コロナ禍により各家庭の事情が大きく変化したケースがあることも考えられ、学生の事情をていねいに聴取し、サポートにつなげる仕組みづくりの拡充が必要かもしれません。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	126	44	17	31	13	8	13
(2)ある程度そう思う	158	31	19	38	31	17	22
(3)あまりそう思わない	82	16	12	15	12	7	20
(4)そう思わない	37	7	3	13	7	0	7
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	31.3	44.9	33.3	32.0	20.6	25.0	21.0
(2)ある程度そう思う	39.2	31.6	37.3	39.2	49.2	53.1	35.5
(3)あまりそう思わない	20.3	16.3	23.5	15.5	19.0	21.9	32.3
(4)そう思わない	9.2	7.1	5.9	13.4	11.1	0.0	11.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

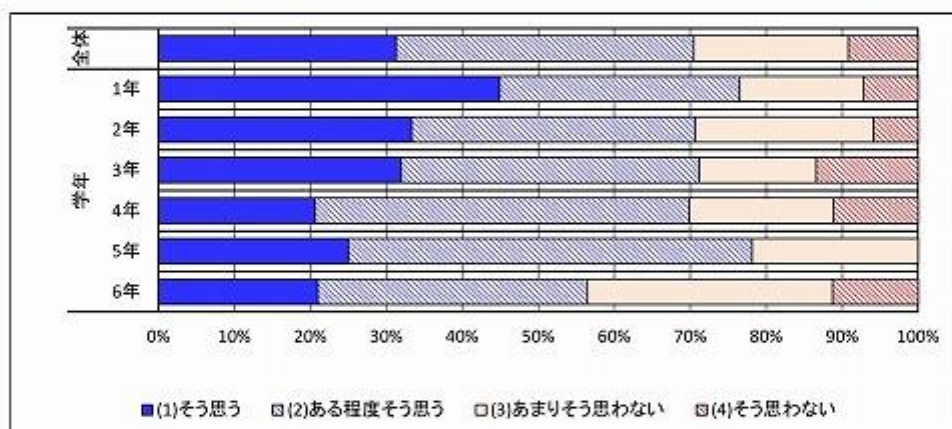


表6-7「留学制度・海外研修プログラム」の回答状況

留学制度・海外研修プログラムを整備・充実してほしいか、との問いには70.5%がそう思う・ある程度そう思うとしています。医学部では近年、留学や海外研修を取り入れたプログラムが導入されてきていますが、さらに拡充を検討する必要があるかもしれません。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	125	46	18	29	11	9	12
(2)ある程度そう思う	159	28	19	37	33	14	28
(3)あまりそう思わない	84	19	12	14	15	9	15
(4)そう思わない	35	5	2	17	4	0	7
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	31.0	46.9	35.3	29.9	17.5	28.1	19.4
(2)ある程度そう思う	39.5	28.6	37.3	38.1	52.4	43.8	45.2
(3)あまりそう思わない	20.8	19.4	23.5	14.4	23.8	28.1	24.2
(4)そう思わない	8.7	5.1	3.9	17.5	6.3	0.0	11.3
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

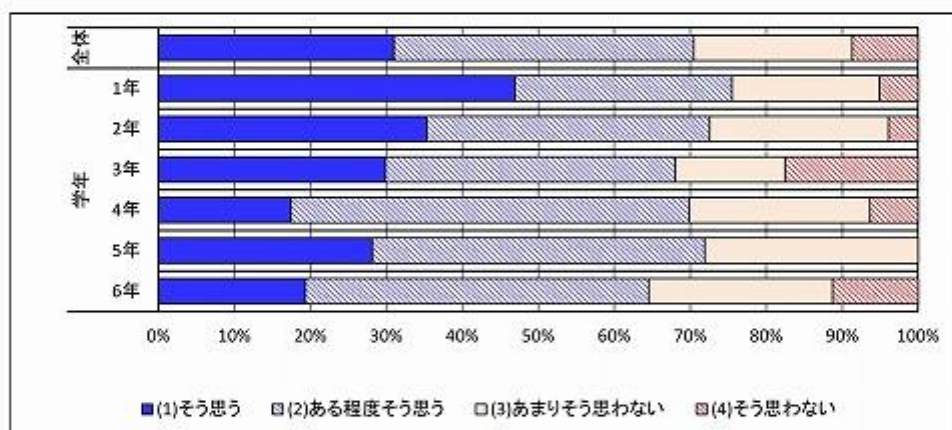
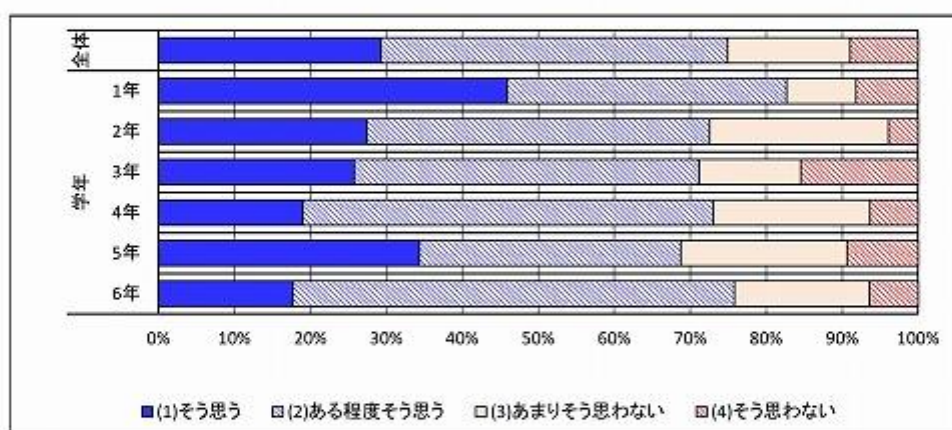


表6-8「クラブ活動・ボランティア活動支援」の回答状況

クラブ活動・ボランティア活動支援を整備・充実してほしいか、との問いには75.0%がそう思う・ある程度そう思うとしています。特に今年度クラブ活動がほとんどできていない1年生で82.6%と最も高い数字となっており、新型コロナ禍の中でも何らかの形でクラブ活動を行えるよう支援が必要と考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	118	45	14	25	12	11	11
(2)ある程度そう思う	184	36	23	44	34	11	36
(3)あまりそう思わない	65	9	12	13	13	7	11
(4)そう思わない	36	8	2	15	4	3	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	29.3	45.9	27.5	25.8	19.0	34.4	17.7
(2)ある程度そう思う	45.7	36.7	45.1	45.4	54.0	34.4	58.1
(3)あまりそう思わない	16.1	9.2	23.5	13.4	20.6	21.9	17.7
(4)そう思わない	8.9	8.2	3.9	15.5	6.3	9.4	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



（６）施設・設備の課題

・ 結 果

施設・設備について整備・充実してほしいかとの問いに対する結果を表 8-1～表 8-9 に示す。そう思う、ある程度そう思うと回答した比率は下記の通り

（カッコ内は自由記載（問 9）で指摘のあった件数）

<施設関連>

教室・実習室	84.3%	(11 件)	(表 8-1)
図書館	78.7%	(9 件)	(表 8-2)
PC 教室など情報系教室	73.5%	(13 件)	(表 8-3)
インターネット環境	85.3%	(2 件)	(表 8-4)
食堂	83.3%	(23 件)	(表 8-5)
コンビニ	80.4%	(24 件)	(表 8-6)
駐輪場	63.7%	(10 件)	(表 8-7)
駐車場	79.7%	(33 件)	(表 8-8)
学生ホール・ラウンジ	81.6%	(1 件)	(表 8-9)

数値としては 63.7%～85.3%の範囲にあり、いずれの項目に置いても何らかの整備・充実・改善すべき点があると考えられるが、自由記載において指摘のあった内容（のべ 126 件）を分類し関連する項目に割り当てていくと、件数には大きな差が認められた。

食堂（23 件）とコンビニ（24 件）については学内で食事を取る環境の改善要望という意味において同じ方向性である。食堂では開店時間（朝晩・土日や休暇中の食事場所確保）、場所（遠い、雨天時に困る）、メニューが限られていることなどであり、コンビニは営業時間と特定業者に限定されていることであった。

毎年要望のある駐車場も 33 件あり、改善がなされていないことが見受けられる。遠く整備されていないこと、学生以外の駐車があるためか駐車場所を探すことに時間がかかることなどが挙げられている。

駐輪場（63.7%）も率としては最も低いが自由意見としては 10 件ある。スペースや混雑・屋根の設置などの問題の他、自転車通路の問題も指摘されている。

PC 教室など情報系教室（13 件）の内容は印刷機・コピー機の設置要望と、ポリクリ室の電子カルテ増設である。

・ 考 察

設備では駐車場・食堂・コンビニの改善を求める声が多く、昨年までの調査結果と大きく変化していない。学生食堂は昨年度までに整備され、コンビニも 1 店舗新たに開設したところであるが、昼の営業に限られており、医学部では土日祝日・長期休業中を含めて朝から夜まで学内で勉強する学生が多いことに対応できていない。食事の場に困り、夕食ですらインスタント麺やコンビニ弁当で済ませている学生の姿が散見されていることは、すでに昨年度までの報告書でも指摘していることである。学生の健康面への配慮からも、朝食・夕食を提供する方法を検討する必要がある。

駐車場については今年度になって大学付近への違法・迷惑駐車問題に対して厳しく対応する方針を学生に提示したことと合わせて考えると、学生駐車場の整備を進める一方、公共交通機関利用を強力に推進しサポートするなど、抜本的な対応が必要であろう。バス混雑に対応するため通学用バス運用などの対応がはじまっているが、時差通学や登校日調整など多方面からの対策も検討に値する。

なお自転車通学をする学生からは、駐輪場だけでなく、自転車通路の危険性も指摘されている。自転車通学学生が事故に遭った事例もあり、学外から駐輪場までの動線を検討し、通路と通行ルールの整備が必要と考えられる。

表8-1.「教室・実習室」の回答状況

教室・実習室を整備・充実してほしいか、との問いには84.3%がそう思う・ある程度そう思うとしています。これについてはCOVID-19感染対策による講義室・実習室利用方法変更の影響もあると考えられ、どのような問題点があるかはさらに調査が必要です。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	177	44	20	45	24	17	27
(2)ある程度そう思う	163	41	25	33	29	11	24
(3)あまりそう思わない	49	11	6	14	8	3	7
(4)そう思わない	14	2	0	5	2	1	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	43.9	44.9	39.2	46.4	38.1	53.1	43.5
(2)ある程度そう思う	40.4	41.8	49.0	34.0	46.0	34.4	38.7
(3)あまりそう思わない	12.2	11.2	11.8	14.4	12.7	9.4	11.3
(4)そう思わない	3.5	2.0	0.0	5.2	3.2	3.1	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

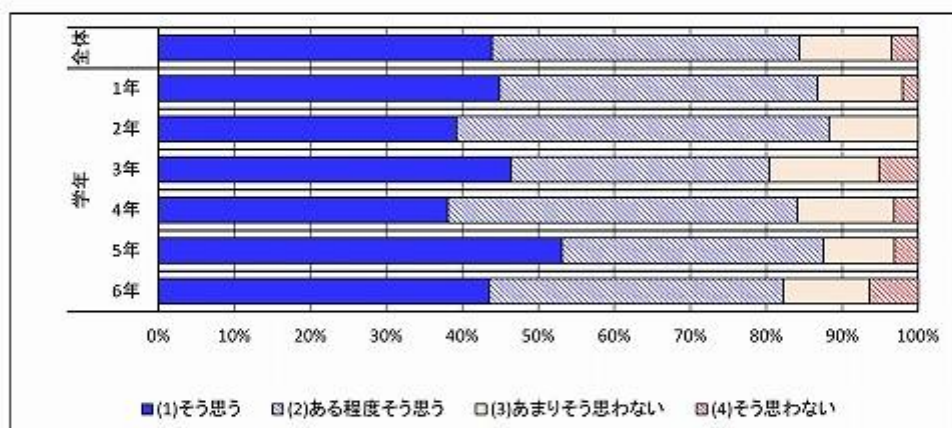


表8-2「図書館」の回答状況

図書館を整備・充実してほしいか、との問いには78.7%がそう思う・ある程度そう思うとしています。具体的にどのような問題点があるかについてはさらなる調査が必要です。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	158	45	20	33	23	15	22
(2)ある程度そう思う	159	36	23	36	25	13	26
(3)あまりそう思わない	66	13	7	20	13	3	10
(4)そう思わない	20	4	1	8	2	1	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	39.2	45.9	39.2	34.0	36.5	46.9	35.5
(2)ある程度そう思う	39.5	36.7	45.1	37.1	39.7	40.6	41.9
(3)あまりそう思わない	16.4	13.3	13.7	20.6	20.6	9.4	16.1
(4)そう思わない	5.0	4.1	2.0	8.2	3.2	3.1	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

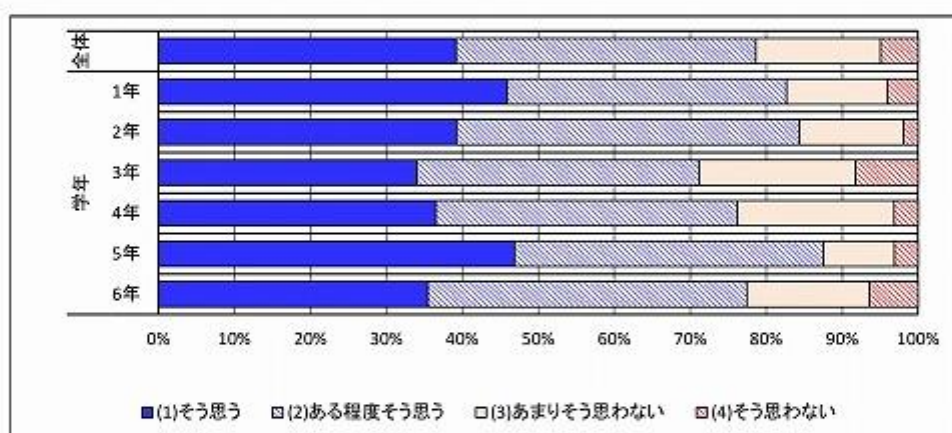


表8-3「PC教室など情報系教室」の回答状況

PC教室など情報系教室を整備・充実してほしいか、との問いには73.5%がそう思う・ある程度そう思うとしています。特に4年生・5年生で84.1%、84.4%と高くなっています。本学のPC室は他大学に比べても整備が進んでおり充実していますが、さらなる改善に向けて調査・問題点の抽出が必要です。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	145	35	13	29	31	14	23
(2)ある程度そう思う	151	35	23	37	22	13	21
(3)あまりそう思わない	89	24	14	26	8	4	13
(4)そう思わない	18	4	1	5	2	1	5
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	36.0	35.7	25.5	29.9	49.2	43.8	37.1
(2)ある程度そう思う	37.5	35.7	45.1	38.1	34.9	40.6	33.9
(3)あまりそう思わない	22.1	24.5	27.5	26.8	12.7	12.5	21.0
(4)そう思わない	4.5	4.1	2.0	5.2	3.2	3.1	8.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

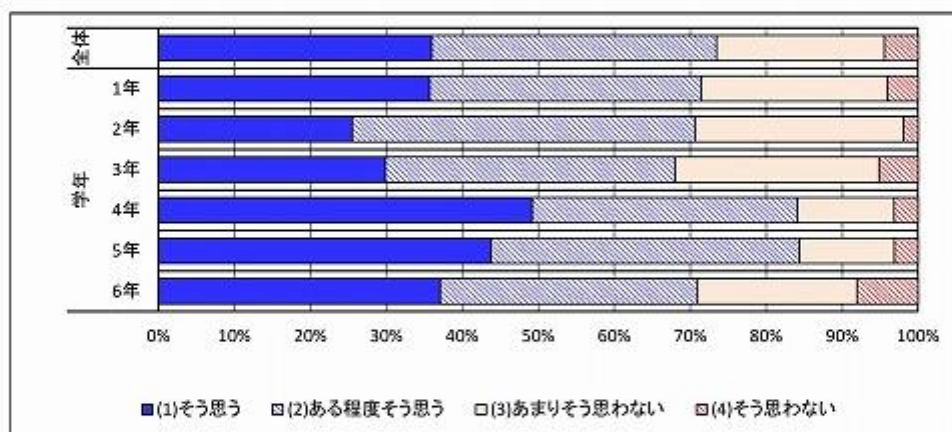


表8-4「インターネット環境」の回答状況

インターネット環境を整備・充実してほしいか、との問いには85.3%が「そう思う・ある程度そう思う」としており、特に2年生で96.1%と高くなっています。本学のWIFI環境等は近年整備・拡充が進んでいますが、講義資料のデジタル配布にはまだ支障をきたしているのかもしれません。講義受講に差し支える可能性があり、十分な検討と改善が急がれます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	215	59	28	49	31	16	32
(2)ある程度そう思う	129	27	21	31	24	10	16
(3)あまりそう思わない	49	10	2	15	7	5	10
(4)そう思わない	10	2	0	2	1	1	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	53.3	60.2	54.9	50.5	49.2	50.0	51.6
(2)ある程度そう思う	32.0	27.6	41.2	32.0	38.1	31.3	25.8
(3)あまりそう思わない	12.2	10.2	3.9	15.5	11.1	15.6	16.1
(4)そう思わない	2.5	2.0	0.0	2.1	1.6	3.1	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

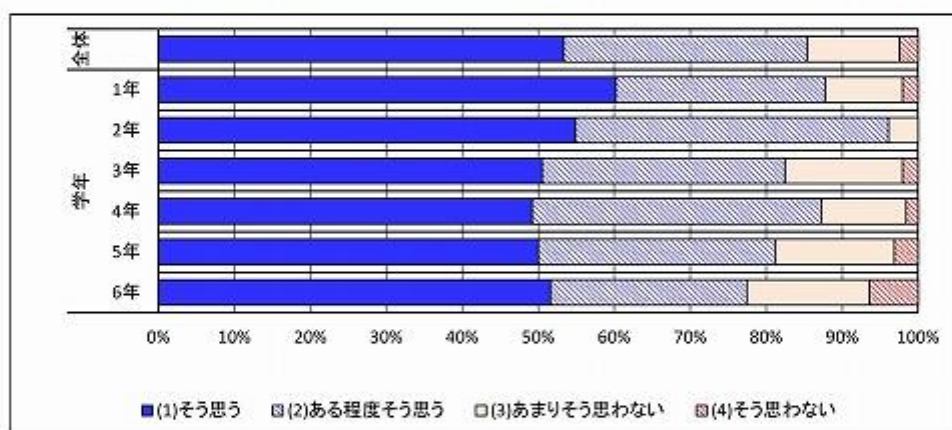


表8-5「食堂」の回答状況

食堂を整備・充実してほしいか、との問いには83.3%がそう思う・ある程度そう思うとしています。学生食堂は改装されましたが、依然として学内で朝食や夕食をとれる場所がなく、また土日や休暇期間の営業も限定的です。学生の健康に直結することから、改善が急務と考えられます。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	223	60	30	49	31	15	38
(2)ある程度そう思う	113	23	16	26	23	14	11
(3)あまりそう思わない	50	11	4	18	6	3	8
(4)そう思わない	17	4	1	4	3	0	5
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	55.3	61.2	58.8	50.5	49.2	46.9	61.3
(2)ある程度そう思う	28.0	23.5	31.4	26.8	36.5	43.8	17.7
(3)あまりそう思わない	12.4	11.2	7.8	18.6	9.5	9.4	12.9
(4)そう思わない	4.2	4.1	2.0	4.1	4.8	0.0	8.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

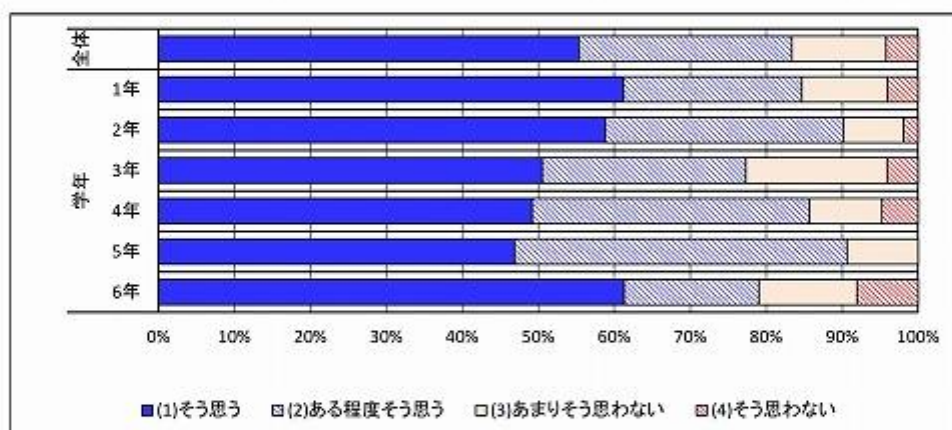


表8-6「コンビニ」の回答状況

コンビニを整備・充実してほしいか、との問いには80.4%がそう思う・ある程度そう思うとしています。コンビニ店舗は2000人ホール下に新たに開店したため、これによりどの程度改善がみられるか、今後検討が必要です。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	212	52	26	51	31	16	36
(2)ある程度そう思う	112	21	18	23	23	11	16
(3)あまりそう思わない	67	18	6	22	9	4	8
(4)そう思わない	12	7	1	1	0	1	2
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	52.6	53.1	51.0	52.6	49.2	50.0	58.1
(2)ある程度そう思う	27.8	21.4	35.3	23.7	36.5	34.4	25.8
(3)あまりそう思わない	16.6	18.4	11.8	22.7	14.3	12.5	12.9
(4)そう思わない	3.0	7.1	2.0	1.0	0.0	3.1	3.2
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

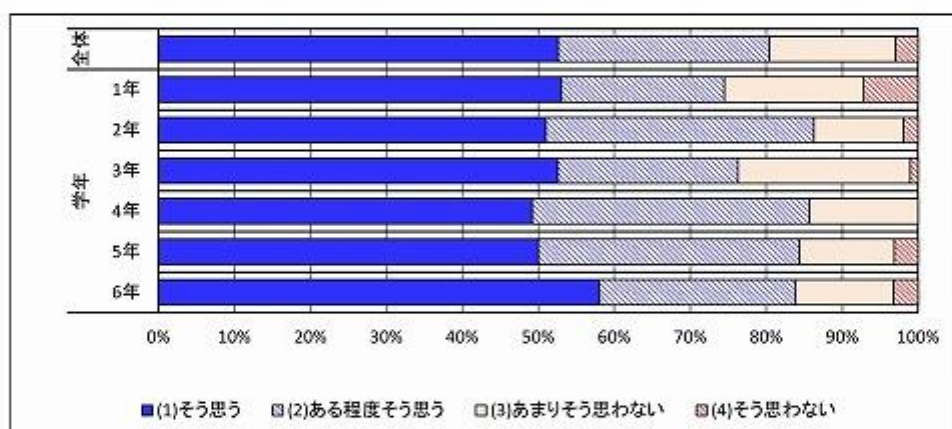


表8-7.「駐輪場」の回答状況

駐輪場を整備・充実してほしいか、との問いには63.7%がそう思う・ある程度そう思うとしています。他項目よりも低い数字となっているのは自転車通学者がそう多くないことを反映していると思われますが、いずれにせよ改善に向けて問題点を調査する必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	142	41	19	34	14	11	23
(2)ある程度そう思う	115	28	15	22	26	9	15
(3)あまりそう思わない	95	22	13	26	14	7	13
(4)そう思わない	51	7	4	15	9	5	11
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	35.2	41.8	37.3	35.1	22.2	34.4	37.1
(2)ある程度そう思う	28.5	28.6	29.4	22.7	41.3	28.1	24.2
(3)あまりそう思わない	23.6	22.4	25.5	26.8	22.2	21.9	21.0
(4)そう思わない	12.7	7.1	7.8	15.5	14.3	15.6	17.7
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

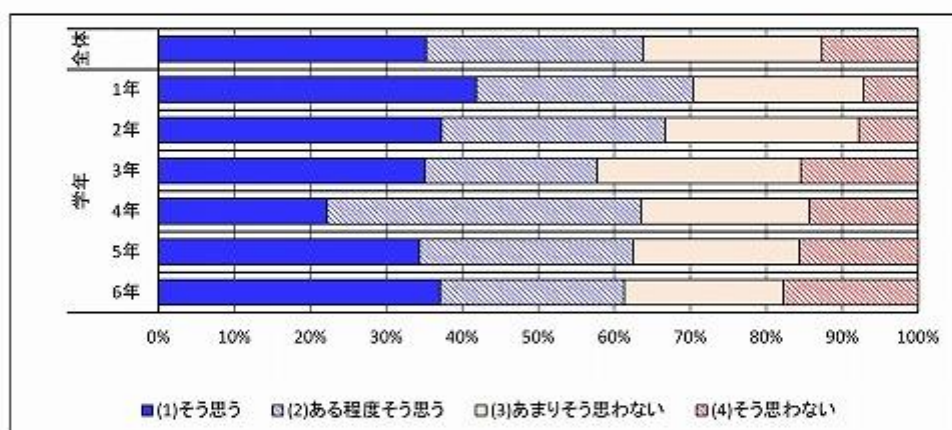


表8-8.「駐車場」の回答状況

駐車場を整備・充実してほしいか、との問いに79.7%がそう思う・ある程度そう思うとしています。学生が患者用・職員用駐車場を使用したり、近隣に違法駐車したりなどの問題が多発していますが、学生用駐車場を整備することとあわせて検討する必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	224	50	34	55	31	19	35
(2)ある程度そう思う	97	25	9	16	20	9	18
(3)あまりそう思わない	50	17	4	14	7	3	5
(4)そう思わない	32	6	4	12	5	1	4
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	55.6	51.0	66.7	56.7	49.2	59.4	56.5
(2)ある程度そう思う	24.1	25.5	17.6	16.5	31.7	28.1	29.0
(3)あまりそう思わない	12.4	17.3	7.8	14.4	11.1	9.4	8.1
(4)そう思わない	7.9	6.1	7.8	12.4	7.9	3.1	6.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

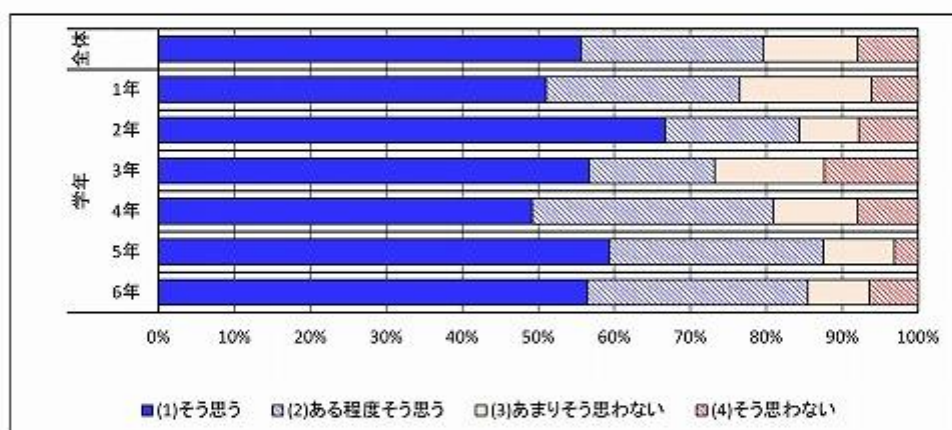
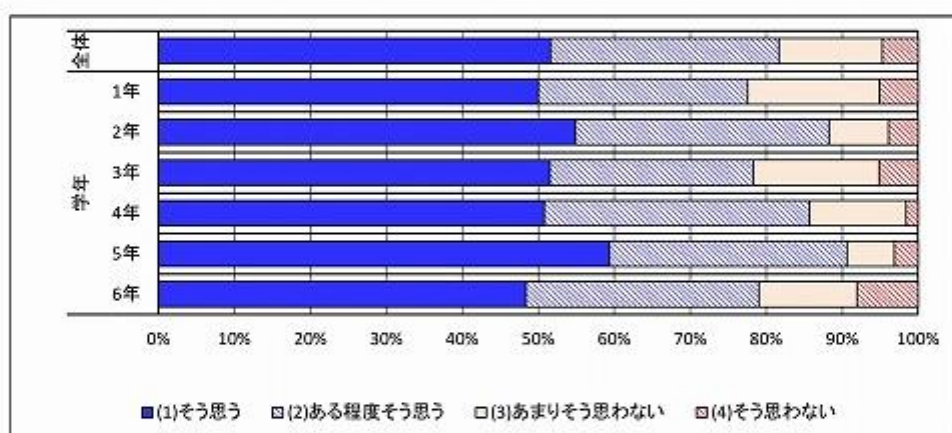


表8-9.「学生ホール・ラウンジ」の回答状況

学生ホール・ラウンジを整備・充実してほしいか、との問いに81.6%がそう思う・ある程度そう思うとしています。具体的にどのような問題があるのかを調査し、改善可能なのかを検討する必要があります。

回答肢	全体	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数(人)							
(1)そう思う	208	49	28	50	32	19	30
(2)ある程度そう思う	121	27	17	26	22	10	19
(3)あまりそう思わない	55	17	4	16	8	2	8
(4)そう思わない	19	5	2	5	1	1	5
全体	403	98	51	97	63	32	62
割合(%)							
(1)そう思う	51.6	50.0	54.9	51.5	50.8	59.4	48.4
(2)ある程度そう思う	30.0	27.6	33.3	26.8	34.9	31.3	30.6
(3)あまりそう思わない	13.6	17.3	7.8	16.5	12.7	6.3	12.9
(4)そう思わない	4.7	5.1	3.9	5.2	1.6	3.1	8.1
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



5. まとめ

・ 調査概要

本学の学生生活・学修実態の概要と学修の課題の把握を目的とし、本学の教育活動の見直しに係る検討への情報提供を想定して調査を行った。調査期間は2020年10月15日（木）～10月31日（土）、10月31日時点で在籍する全学年の医学部学生である。732名中403名から回答があった（55.1%）。

・ 充実度

学修生活の充実度について肯定的な回答は7割を超えていたが、新型コロナ禍の影響によりクラブ活動や学外活動の活動時間が大幅に減少しており充実度が低く、少しでも活動ができるよう大学側のサポートが必要と考えられる。

・ 授業のオンライン化・改善要望

授業のオンライン化は出席状況に大きく影響しておらず、肯定的に受け止める意見も多かったが、授業資料の配信システムと出席管理システムに課題があることがわかった。

・ 授業内容の評価・改善要望

授業については概ね良好な評価だが、否定的な評価や一部科目に対する問題点の指摘があり、意見の収集と授業改善につなげる方法に課題がある。試験が厳しいという意見に対しては学修効果を高め、修得を促すことができるよう改善が必要である。

・ 授業の教育効果

教育効果については「外国語を使う力」と「統計数理の知識・技能」で評価が低い。様々な講義・実習の中で実際に外国語や統計数理を使用するような工夫が必要と考えられる。

・ キャンパス設備改善の課題

キャンパス設備では駐車場・食堂・コンビニの改善を求める声が多く、昨年までの調査と傾向が変わらないことから、設備整備が医学部学生のニーズに合っていないと考えられる。食事を取る環境については学生の健康にかかわるものでもあり、改善は必須である。駐車場は単に整備だけでなく、公共交通機関利用推進を合わせて考える必要がある。自転車通学については駐輪場だけでなく通路の危険性も指摘されており、改善が望まれる。

6. 調査資料

1) 通知文と回答方法

学生へのアンケート回答方法についての通知文ならびに回答方法を以下に示す。

学生の皆さんへ

「2020 年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査」の実施について

IR (Institutional Research) 推進センターは本学の教育と学生支援の調査分析を担当しています。この調査は、皆さんが将来、医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活・学修実態の概要と学修の課題を把握し、本学の教育活動の見直しに向けた検討の資料とするものです。本調査への参加は強制ではありません。また、参加・不参加は成績等の評価に影響することはありません。しかし、出来る限り多くの意見を頂きたいと思っています。

入力いただいた回答並びにご意見等は、本調査の目的以外に使用することはありませんので、皆さんのご協力をお願いいたします。

藤田医科大学 IR 推進センター

学生生活・学修実態調査の回答方法

学生生活・学修実態調査(アンケート)は匿名で実施され、誰がどんな回答をしたかはわかりません。なお、アンケートサイトへのログイン、回答の送信完了については記録されます。

1. Moodle の以下のコースにパソコンまたはスマートフォンからアクセスして回答してください。回答にかかる時間は 10 分程度です。

医科・保健 e ラーニング (Moodle)→全学科共通→2020 学生生活学修実態調査

<https://lms.shs.fujita-hu.ac.jp/moodle/course/view.php?id=1362>



2. 回答送信後、画面左上部のダッシュボードをクリックし、最初の画面に戻ります。
完了している場合は、画面右部にバッジが表示されます。
これでアンケート完了となります。



藤田医科大学 IR 推進センター
医療科学部・保健衛生学部 IR 分室

2) アンケート調査項目

Moodle で実施したアンケート調査項目を以下に示す。

2020 年度学生生活・学修実態調査 アンケート調査項目

【基本属性】

(1-01) 学部・学科は

- ☐ 医学部医学科
- ☐ 医療科学部 医療検査学科／臨床検査学科
- ☐ 医療科学部 放射線学科
- ☐ 医療科学部 臨床工学科
- ☐ 医療科学部 医療経営情報学科
- ☐ 保健衛生学部 看護学科
- ☐ 保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻
- ☐ 保健衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻
- ☐ 看護専門学校

(1-02) 学年は

- ☐ 1 年生 ☐ 2 年生 ☐ 3 年生 ☐ 4 年生 ☐ 5 年生 ☐ 6 年生

(1-03) 性別は

- ☐ 男 ☐ 女

【学生生活・学修実態の概要】

(2-01) 大学の学修面は充実していますか。

- ☐ 充実している ☐ まあまあ充実している ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり充実していない ☐ 全く充実していない

(2-02) 大学のクラブ活動や学外での活動などは充実していますか

- ☐ 充実している ☐ まあまあ充実している ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり充実していない ☐ 全く充実していない

3. 現在の授業期間中の平均的な 1 週間（7 日間）の生活時間について、当てはまる時間数（合計）を選択してください。

(3-01) 授業（実験・実習を含む）への出席

- ☐ 0 時間 ☐ 1～5 時間 ☐ 6～10 時間 ☐ 11～15 時間 ☐ 16～20 時間
- ☐ 21～30 時間 ☐ 31 時間以上

(3-02) 予習・復習・課題など授業に関する学習

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

(3-03) 授業以外の学習

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

(3-04) 部活動／サークル活動

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

(3-05) アルバイト／定職

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

(3-06) 就職に関わる活動

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

(3-07) 趣味／娯楽／交友

☐0 時間 ☐1～5 時間 ☐6～10 時間 ☐11～15 時間 ☐16～20 時間
☐21～30 時間 ☐31 時間以上

【学修の課題】

4. 大学に入ってから受けた授業では、次の項目はどれくらいありましたか。

各項目について当てはまるものを選択してください。

(4-01) 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。

☐よくあった ☐ある程度あった ☐あまりなかった ☐ほとんどなかった

(4-02) 理解しやすいように教え方が工夫されていた。

☐よくあった ☐ある程度あった ☐あまりなかった ☐ほとんどなかった

(4-03) 教員以外の者（アシスタントなど）が配置されており、補助的な指導があった。

☐よくあった ☐ある程度あった ☐あまりなかった ☐ほとんどなかった

(4-04) 小テストやレポートなどの課題が出された。※期末テストは除く

☐よくあった ☐ある程度あった ☐あまりなかった ☐ほとんどなかった

(4-05) 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された。

☐よくあった ☐ある程度あった ☐あまりなかった ☐ほとんどなかった

(4-06) グループワークやディスカッションの機会があった。

☐ よくあった ☐ ある程度あった ☐ あまりなかった ☐ ほとんどなかった

(4-07) 教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった。

☐ よくあった ☐ ある程度あった ☐ あまりなかった ☐ ほとんどなかった

(4-08) 主に英語で行われる授業（語学科目は除く）があった。

☐ よくあった ☐ ある程度あった ☐ あまりなかった ☐ ほとんどなかった

5. 次の知識や能力を身に付けるために、あなたが受けた大学教育は役に立っていると思いますか。各項目について当てはまるものを選択してください。

(5-01) 専門分野に関する知識・理解

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-02) 将来の仕事に関連しうる知識・技能

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-03) 文献・資料・データを収集・分析する力

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-04) 論理的に文章を書く力

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-05) 人に分かりやすく話す力

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-06) 外国語を使う力

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-07) 統計数理の知識・技能

☐ とても役に立っている ☐ 役に立っている ☐ あまり役に立っていない
☐ 役に立っていない

(5-08) 問題を見つけ、解決方法を考える力

☐とても役に立っている ☐役に立っている ☐あまり役に立っていない
☐役に立っていない

(5-09) 多様な人々と協働する力

☐とても役に立っている ☐役に立っている ☐あまり役に立っていない
☐役に立っていない

(5-10) 幅広い知識、ものの見方

☐とても役に立っている ☐役に立っている ☐あまり役に立っていない
☐役に立っていない

(5-11) 異なる文化に関する知識・理解

☐とても役に立っている ☐役に立っている ☐あまり役に立っていない
☐役に立っていない

6. 次の教育や制度を整備・充実してほしいですか。当てはまるものを選択してください。

(6-01) カリキュラム

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-02) オンライン学修

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-03) 授業・試験・成績などの教務情報

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-04) 資格取得講座（対策授業）

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-05) 就職支援・進路相談

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-06) 奨学金制度の新設や増額

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-07) 留学制度・海外研修プログラム

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(6-08) クラブ活動・ボランティア活動支援

☐そう思う ☐ある程度そう思う ☐あまりそう思わない ☐そう思わない

(7-01) 教育や制度の整備・充実について、自由に、意見を記載してください。

8. 次のキャンパス内の施設・設備を整備・充実してほしいですか。当てはまるものを選択してください。

(8-01) 教室・実習室

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-02) 図書館

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-03) PC 教室など情報系教室

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-04) インターネット環境

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-05) 食堂

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-06) コンビニ

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-07) 駐輪場

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-08) 駐車場

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(8-09) 学生ホール・ラウンジ

☐ そう思う ☐ ある程度そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

(9-01) キャンパス内の施設・設備の整備・充実について、自由に、意見を記載してください。